

BladeSymphony BS320

Virtage セットアップガイド

~ 基本構成編 ~

マニュアルはよく読み、保管してください。

製品を使用する前に、安全上の指示をよく読み、十分理解してください。 このマニュアルは、いつでも参照できるよう、手近なところに保管してください。

BS320V104-05

登録商標·商標

Microsoft、Windows、Windows Server、Hyper-Vは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、インテル、XeonはIntel Corporationの登録商標および商標です。

Linuxは、Linus Torvaldsの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hatは、米国およびその他の国におけるRed Hat,Inc.の登録商標または商標です。

ORACLE、Javaは、Oracle Corporationおよびその子会社、関連会社の米国およびその他の国における登録商標です。

その他、本マニュアル中の製品名および会社名は、各社の商標または登録商標です。

発行

2013年4月(第5版)

版権

このマニュアルの内容はすべて著作権によって保護されています。このマニュアルの内容の一部または全部を、 無断で転載することは禁じられています。

Copyright© Hitachi, Ltd. 2011, 2013. All rights reserved.

お知らせ

重要なお知らせ

- 本書の内容の一部、または全部を無断で転載したり、複写することは固くお断わりします。
- 本書の内容について、改良のため予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審な点や誤りなど、お気付きのことがありましたら、 お買い求め先へご一報くださいますようお願いいたします。
- 本書に準じないで本製品を運用した結果については責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- この製品には、RSA Data Securityからライセンスを受けたコードが含まれています。

システム装置の信頼性について

ご購入いただきましたシステム装置は、一般事務用を意図して設計・製作されています。生命、財産に著しく影響のある高信頼性を要求される用途への使用は避けてください。このような使用に対する万一の事故に対し、弊社 は一切責任を負いません。

高信頼性を必要とする場合には別システムが必要です。弊社営業部門にご相談ください。

一般事務用システム装置が不適当な、高信頼性を必要とする用途例

• 化学プラント制御・医療機器制御・緊急連絡制御など

規制・対策などについて

電波障害自主規制について

電波障害自主規制については、次の説明文をお読みください。

電源の瞬時電圧低下対策について

本装置は、落雷などによる電源の瞬時電圧低下に対して不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置などを使用されることをお勧めします。(詳しくは本文をご参照ください)

高調波電流規格: JIS C 61000-3-2準用品について

JISC 61000-3-2準用品とは、日本工業規格「電磁両立性-第3-2部:限度値-高調波電流発生限度値(1相当た りの入力電流が20A以下の機器)」を準用し、商用電力系統の高調波環境目標レベルに適合して設計・製造した製 品です。

雑音耐力について

本製品の外来電磁波に対する耐力は、国際電気標準会議規格IEC61000-4-3「放射無線周波電磁界イミュニティ 試験」のレベル2 に相当する規定に合致していることを確認しております。

輸出規制について

本製品を輸出される場合には、外国為替および外国貿易法並びに米国の輸出管理関連法規などの規制をご確 認のうえ、必要な手続きをお取りください。なお、ご不明の場合は弊社担当営業にお問い合わせください。 なお、この装置に付属する周辺機器やプレインストールされているソフトウェアも同じ扱いになります。

システム装置の廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

最近、パソコンやシステム装置はオフィスや家庭などで、いろいろな用途に使われるようになってきています。これ らのシステム装置の中のハードディスクという記憶装置に、お客様の重要なデータが記録されています。 したがって、そのシステム装置を譲渡あるいは廃棄するときには、これらの重要なデータ内容を消去するということ が必要となります。

ところが、このハードディスクに書き込まれたデータを消去するというのは、それほど簡単ではありません。 「データを消去する」という場合、一般に

- データを「ゴミ箱」に捨てる
- 「削除」処理を行う
- •「ゴミ箱を空にする」コマンドを使って消す
- ソフトで初期化(フォーマット)する
- 付属のリカバリーCD を使い、工場出荷状態に戻す

などの作業をすると思いますが、これらのことをしても、ハードディスク内に記録されたデータのファイル管理情報 が変更されるだけで、実際はデータは見えなくなっているという状態なのです。

つまり、一見消去されたように見えますが、Windows®などのOSのもとで、それらのデータを呼び出す処理ができなくなっただけで、本来のデータは残っているという状態にあるのです。

したがって、特殊なデータ回復のためのソフトウェアを利用すれば、これらのデータを読みとることが可能な場合が あります。このため、悪意のある人により、このシステム装置のハードディスク内の重要なデータが読みとられ、予 期しない用途に利用されるおそれがあります。システム装置ユーザが、廃棄・譲渡などを行う際に、ハードディスク 上の重要なデータが流出するというトラブルを回避するためには、ハードディスクに記録された全データを、ユーザ の責任において消去することが非常に重要となります。消去するためには、専用ソフトウェアあるいはサービス(共 に有償)を利用するか、ハードディスク上のデータを金槌や強磁気により物理的・磁気的に破壊して、読めなくする ことを推奨します。

なお、ハードディスク上のソフトウェア(OS、アプリケーションソフトなど)を削除することなくシステム装置を譲渡す ると、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合があるため、十分な確認を行う必要があります。 ハードディスクのデータを消去するユーティリティは、『CLEAR-DA』、『CLEAR-DA RAID』などがあります。詳細は 担当営業へお問い合わせください。

🖸 制限

- 『CLEAR-DA』は、CD より起動させて使用します。
- 本システム装置については、別途USB外付けCD装置が必要となります。

はじめに

このたびはBladeSymphony BS320装置をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。このマニュアルは、 取り扱いの注意など、使用するために必要な事柄について記載しています。

マニュアルの表記

マークについて

マニュアル内で使用しているマークの意味は次のとおりです。

マーク	
▲ 数件	これは、死亡または重大な傷害を引き起こすおそれのある潜在的な危険の存在を
	示すのに用います。
	これは、軽度の傷害、あるいは中程度の傷害を引き起こすおそれのある潜在的な
▲注意	危険の存在を示すのに用います。
	また、オペレーションをする上での注意事項を示します。
ነጃ ተከ	これは、装置の重大な損傷、または周囲の財物の損傷を引き起こすおそれのある
쁘차	潜在的な危険の存在を示すのに用います。
●制限	人身の安全や装置の重大な損害と直接関係しない注意書きを示します。
補足	装置を活用するためのアドバイスを示します。

オペレーティングシステム(OS)の略称について

本マニュアルでは、次のOS 名称を省略して表記します。 また、Service Pack については記載していません。

- Microsoft® Windows Server® 2012 Standard 日本語版 (以下 Windows Server 2012 Standard)
- Microsoft® Windows Server® 2012 Datacenter 日本語版 (以下 Windows Server 2012 Datacenter)
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Standard 日本語版 (以下 Windows Server 2008 R2 Standard)
- Microsoft® Windows Server® 2008 R2 Enterprise 日本語版 (以下 Windows Server 2008 R2 Enterprise)
- Microsoft[®] Windows Server[®] 2008 R2 Datacenter 日本語版 (以下 Windows Server 2008 R2 Datacenter)
- Microsoft® Windows Server® 2008 Standard 日本語版 (以下 Windows Server 2008 Standard)
- Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise 日本語版 (以下 Windows Server 2008 Enterprise)
- Microsoft[®] Windows Server[®] 2008 Datacenter 日本語版 (以下 Windows Server 2008 Datacenter)
- Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-VTM 日本語版 (以下 Windows Server 2008 Standard without Hyper-V)
- Microsoft[®] Windows Server[®] 2008 Enterprise without Hyper-V[™] 日本語版 (以下 Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V)
- Microsoft[®] Windows Server[®] 2008 Datacenter without Hyper-V[™] 日本語版 (以下 Windows Server 2008 Datacenter without Hyper-V)

- Microsoft® Windows Server® 2008 Standard 32-bit 日本語版 (以下 Windows Server 2008 Standard 32-bit)
- Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise 32-bit 日本語版 (以下 Windows Server 2008 Enterprise 32-bit)
- Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter 32-bit 日本語版 (以下 Windows Server 2008 Datacenter 32-bit)
- Microsoft® Windows Server® 2008 Standard without Hyper-V ™ 32-bit 日本語版 (以下 Windows Server 2008 Standard without Hyper-V 32-bit)
- Microsoft® Windows Server® 2008 Enterprise without Hyper-V ™ 32-bit 日本語版 (以下 Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V 32-bit)
- Microsoft® Windows Server® 2008 Datacenter without Hyper-V ™ 32-bit 日本語版 (以下 Windows Server 2008 Datacenter without Hyper-V 32-bit)
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard x64 Edition 日本語版 (以下 Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition)
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise x64 Edition 日本語版 (以下 Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition)
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Standard Edition 日本語版 (以下 Windows Server 2003 R2, Standard Edition)
- Microsoft® Windows Server® 2003 R2, Enterprise Edition 日本語版 (以下 Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition)
- Microsoft[®] Windows Server[®] 2003, Standard x64 Edition 日本語版 (以下 Windows Server 2003, Standard x64 Edition)
- Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise x64 Edition 日本語版 (以下 Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition)
- Microsoft® Windows Server® 2003, Standard Edition 日本語版 (以下 Windows Server 2003, Standard Edition)
- Microsoft® Windows Server® 2003, Enterprise Edition 日本語版 (以下 Windows Server 2003, Enterprise Edition)

OS表記	対象OS		
Windows Server 2012	Windows Server 2012 Standard		
	Windows Server 2012 Datacenter		
Windows Server 2008 R2	Windows Server 2008 R2 Standard		
	Windows Server 2008 R2 Enterprise		
	Windows Server 2008 R2 Datacenter		
Windows Server 2008	Windows Server 2008 Standard		
	Windows Server 2008 Enterprise		
	Windows Server 2008 Datacenter		
	Windows Server 2008 Standard without Hyper-V		
	Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V		
	Windows Server 2008 Datacenter without Hyper-V		
	Windows Server 2008 Standard 32-bit		
	Windows Server 2008 Enterprise 32-bit		
	Windows Server 2008 Datacenter 32-bit		
	Windows Server 2008 Standard without Hyper-V 32-bit		
	Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V 32-bit		
	Windows Server 2008 Datacenter without Hyper-V 32-bit		
Windows Conver 2008 64 hit	Windows Server 2008 Standard		
WINDOWS Server 2006 64DIL版	Windows Server 2008 Enterprise		
	Windows Server 2008 Detecentor		
	Windows Server 2006 Datacenter		
	Windows Server 2008 Standard Without Hyper-V		
	Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V		
	Windows Server 2008 Datacenter without Hyper-V		
Windows Server 2008 32bit版	Windows Server 2008 Standard 32-bit		
	Windows Server 2008 Enterprise 32-bit		
	Windows Server 2008 Datacenter 32-bit		
	Windows Server 2008 Standard without Hyper-V 32-bit		
	Windows Server 2008 Enterprise without Hyper-V 32-bit		
	Windows Server 2008 Datacenter without Hyper-V 32-bit		
Windows Server 2003 R2	Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition		
	Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition		
	Windows Server 2003 R2, Standard Edition		
	Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition		
Windows Server 2003 R2(x64)	Windows Server 2003 R2, Standard x64 Edition		
	Windows Server 2003 R2, Enterprise x64 Edition		
Windows Server 2003 R2(32ビット)	Windows Server 2003 R2, Standard Edition		
Windows Server 2003 R2, Enterprise Edition			
Windows Server 2003 Windows Server 2003, Standard x64 Edition			
	Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition		
	Windows Server 2003, Standard Edition		
	Windows Server 2003, Enterprise Edition		
Windows Server 2003(x64)	Windows Server 2003, Standard x64 Edition		
	Windows Server 2003, Enterprise x64 Edition		
Windows Server 2003(32ビット)	Windows Server 2003, Standard Edition		
	Windows Sonver 2003 Enterprise Edition		

なお次のとおり、省略した「OS 表記」は、「対象OS」中のすべてまたは一部を表すときに用います。

安全にお使いいただくために

「安全にお使いいただくために」については、『ユーザーズガイド 導入編』を参照してください。

目次

1

2

お知らせ 重要なお知らせ システム装置の信頼性について 規制・対策などについて	
はじめに	v
マニュアルの表記	v
安全にお使いいただくために	vii
目次	viii
セットアップの準備	1
1.1 システム装置の設定 1.1.1 システム装置へのケーブル接続	2
1.2 ネットワークの設定 1.2.1 LANスイッチモジュールの設定 1.2.2 管理パスの設定 1.2.3 ターミナルソフトの設定	3
1.3 ストレージの設定 1.3.1 ディスクの設定 1.3.2 FCスイッチモジュールの設定	
HVMのセットアップ	8
2.1 セットアップの流れ	9
2.2 HVMの起動	10
221 リモートコンパー リネ の接続	10

2.2 HVMの起動	10
2.2.1 リモートコンソールへの接続	10
2.2.2 マネジメントモジュールへの接続	10
2.2.3 HVMモードの設定	11
2.2.4 HVMファームウェア面の選択	12
2.2.5 電源の投入	13
2.2.6 BIOSの設定	14
2.2.7 HVMの初期設定	18
2.3 LPARの構築	26
2.3.1 LPARの作成	26
2.3.2 プロセッサの設定	28
スケジューリングモードを共有モードにする場合	28
スケジューリングモードを占有モードにする場合	31
2.3.3 メモリの設定	34
2.3.4 PCIデバイスの設定	35
スケジューリングモードを共有モードにする場合	35
スケジューリングモードを占有モードにする場合	38
PCIデバイスを割り当てる場合	40
PCIデバイスの使用先を変更する場合	42
2.3.5 共有NICの設定	44
2.3.6 共有FCの設定	46
2.4 構成情報の保存	48
2.5 LPARの起動	49

2.5.1 LPARのActivate	
2.5.2 リモートコンソールへの接続	50
2.6 ブートオーダの設定	51
2.6.1 ブートの設定	51
EFIドライバの設定(SANブートの場合)	51
iSCSIイニシェータの設定(iSCSIブートの場合)	58
2.6.2 ブートオプションの作成	74
OSセットアップの場合	74
ゲストOSブートの場合	81
2.6.3 ブートオーダの変更	85
OSセットアップの場合	85
ゲストOSブートの場合	89
2.7 ゲストOSのインストール	93
2.8 LPARの停止	94
2.8.1 ゲストOSのシャットダウン	
2.8.2 LPARoDeactivate	94
2.9 HVMの停止	
2.9.1 HVMのシャットダウン	



この章では、セットアップの準備ついて説明します。

1.1 システム装置の設定
 1.2 ネットワークの設定
 1.3 ストレージの設定

1.1 システム装置の設定

1.1.1 システム装置へのケーブル接続

HVMを起動するためには、システム装置へのケーブル接続を以下のようにする必要があります。 ネットワークの接続例を以下に示します。



1.2 ネットワークの設定

1.2.1 LANスイッチモジュールの設定

HVMは内部接続方式のみサポートしています。

『設定ガイド スイッチモジュール編』の「マネジメントモジュールーLANスイッチモジュール連携設定」を参照し、マ ネジメントモジュールとLANスイッチモジュールの設定をしてください。 また、『Virtage ユーザーズガイド 運用編』の「LANスイッチモジュールについて」も併せて参照してください。

1.2.2 管理パスの設定

構成情報の転送、HVMダンプの転送、JP1/SC/BSMなどの管理サーバとの通信に使用するネットワークパスを管 理パスと呼びます。

管理パスには、マネジメントモジュールとの間で通信する内部接続管理パスと、JP1/SC/BSMやVirtage Navigator などの外部ネットワークと通信する外部接続管理パスがあります。

管理パスで使用するNICのポートは、LPARでも使用可能です。(管理パスで使用するNICのスケジューリングモードは、HVMが自動的に共有モードに設定します。占有モードに設定することはできません。)

HVMとマネジメントモジュールとの通信は、サーバブレード上のオンボードNIC #0を使用し、内部接続用の管理パスで通信します。

また、オンボードNIC #1を予備とした冗長化構成を組むことも可能です。

 HVMと管理サーバとの通信は、サーバブレード上のオンボードNIC #0のみを使用し、外部接続用の管理パス で通信します。



▶ :内部接続管理パス(マネジメントモジュール接続用)予備 / VLAN ID=4093(デフォルト)
 ▶ :外部接続管理パス / VLANなし

管理パスの概要を以下に示します。

语日	管理パスの種類		
項口	内部接続管理パス	外部接続管理パス	
使用するNIC	オンボードNICの#0 / #1	管理パスとして定義した共有NICの#0	
デフォルト設定	オンボードNICの#0 / #1	オンボードNICの#0	
使用するNICの変更	変更不可能	変更可能	
使用目的	構成情報の転送、HVMダンプの転送	HVMの管理(管理サーバからの設定、制御	
		など含む)	
通信先	マネジメントモジュール	JP1/SC/BSM、 Virtage Navigatorなどの外	
		部ネットワーク	
通信経路	スイッチモジュール#0 / #1の内部接続ポート	・オンボードNICを使用する場合は、スイッ	
	からマネジメントモジュールに接続	チモジュール#0の外部接続ポートから外	
		部ネットワークへ接続	
		・ PCIカードを使用する場合は、PCIカードの	
		#0から外部ネットワークへ接続	
冗長性	オンボードNICの#0 / #1で冗長化	定義したNICの#0を固定で使用するため、冗	
		長性なし	

▲注意

■ 管理パスには、VLANを設定することはできません。

1.2.3 ターミナルソフトの設定

HVMで使用するターミナルソフトは、Tera Term(Version 4.XX)以降となります。(ほかのターミナルソフトではファ ンクションキー、PageUp、PageDownが使えない場合があります) Tera Termの初期設定について説明します。(Telnet接続を使用してください。シリアル接続は動作保証しません)

1 設定]-[端末]を実行し、以下の設定になっていることを確認します。

項目	設定値
端末サイズ	80x50
改行コード	CR
端末ID	VT100
漢字	UTF-8

Tera Term: 端末の設定	X
端末サイズ(丁): 80 × 50 ビョウィンドウサイズ(⑤):	改行コート [™] 受信(B): CR ▼ 送信(M): CR ▼ キャンセル
□目動的(=調整(W): 端末ID(I): VT100 ▼ 応答(A):	□ローカルエコー(L): □自動切り替え(VT<->TEK)(U):
漢字-受信(K) · 漢字-送 UTF-8 · UTF-8 □ Zbit カタカナ □ 7bit 7	【 【 】 【 】 】 】 】 】 】 】 】 】 】 】 】 】 】 】 】
ロケール: japanese	言語コード: 932

設定値

2 [設定]-[キーボード]を実行し、以下の設定になっていることを確認します。

Meta +-	チェック
Tera Term: キーホードの)設定 🔼
DELを送信するキ □ <u>B</u> ackspace キ ☑ <u>D</u> elete キー	ок キャンセル
 <u>Meta</u> ≠ −	ヘルプ(H) aンキーバッド(A) aンカーソル(©)

••• 補足

項目

Meta キーをチェックすることで、[Alt]を Meta キーとして使用することができます。HVM スクリーンでファンクションキーが入力できない場合、Meta キーを利用することでファンクションキーの代用となることがあります。例えば、[Alt]+8 で[F8]の代用になることがあります。

3 [設定]-[シリアルポート]を実行し、以下の設定になっていることを確認します。

項目	設定値
ポート	COM1
ボー・レート	9600
データ	8bit
パリティ	none
ストップ	1bit
フロー制御	none

Tera Term: シリアルポート 設定		
ボート(D): ボー・レート(B): データ(D): パリティ(A): ストップ(S):	COM1 9600 8 bit none 1 bit	OK ≠ャンセル
ストック(g): フロー制御(E): 送信遅延 0 ミリ科	none ▼	リ秒/行(_)

1.3 ストレージの設定

1.3.1 ディスクの設定

外付けディスクアレイ装置のマニュアルを参照し、ディスクの設定を行ってください。

1.3.2 FCスイッチモジュールの設定

SANブートの場合は、FCスイッチモジュールの設定が必要になります。

- 4Gbps Fibre Channelアダプタで共有FC機能を使用する場合は、接続するFCスイッチモジュールのポートの NPIVが有効である必要があります。
 NPIVが有効になっているかは、FCスイッチモジュールのportcfgshowコマンドで確認できます。
 NPIVが有効になっていない場合は、FCスイッチモジュールのportcfgnpivportコマンドにより、NPIVを有効にしてください。詳細については、FCスイッチモジュール添付のマニュアルを参照してください。
- FCスイッチモジュールのFCポートの転送速度がデフォルト(オートネゴシエーション)の場合、FCポートとファイ バチャネルカードの転送速度が不一致となり、ストレージのLUが見えない場合があります。 この場合は、FCポートの転送速度をportcfgspeedコマンドにより、ご使用のファイバチャネルカードの転送速 度と一致させてください。



この章では、HVMのセットアップついて説明します。 バージョンにより画面の表示内容が異なる場合があります。

2.1 セットアップの流れ
 2.2 HVMの起動
 2.3 LPARの構築
 2.4 構成情報の保存
 2.5 LPARの起動
 2.6 ブートオーダの設定
 2.7 ゲストOSのインストール
 2.8 LPARの停止
 2.9 HVMの停止

••• 補足

- 以下の構築・運用支援ツールを使用することで、HVM のセットアップを GUI で行うことができます。
- Virtage Navigator
- JP1/SC/BSM

2.1 セットアップの流れ

セットアップの流れを以下に示します。



BladeSymphony BS320 Virtage セットアップガイド 基本構成編

2.2 HVMの起動

2.2.1 リモートコンソールへの接続

リモートコンソールへの接続については、『ユーザーズガイド 導入編』を参照してください。

2.2.2 マネジメントモジュールへの接続

 Tera Termを起動し、ホストに「マネジメントモジュールのIPアドレス」を入力、サービスに「Telnet」を選択して [OK]ボタンをクリックします。

Tera Term: 新しい接続
 ● TCP/IP ホスト(T): ■ヒストリ(Q) サービス: ● Telnet TCPボート#(P): 23 ● SSH SSHバージョン(V): SSH2 ● その他 プロトコル(Q): UNSPEC
 ○シリアル・ボート(B): COM1:通信ボート (COM1) ○K キャンセル ヘルプ(H)

2 マネジメントモジュールに接続後し、SVPコンソールに移行します。

	======={ System Console Main Menu >====================================
S)	System (SVP command mode)
P0)	OS console #O
P1)	OS console #1
P2)	OS console #2
P3)	OS console #3
P4)	OS console #4
P5)	OS console #5
P6)	OS console #6
P7)	OS console #7
P8)	OS console #8
P9)	OS console #9
X, Ctrl-D)	LOGOUT
PLEASE SELECT I	MENU: <u>S [Enter]</u>

2.2.3 HVMモードの設定

マネジメントモジュールのPRコマンドで、OSモードをHVMモードに設定します。

- 1 「PR」を入力して[Enter]を押します。
- 2「2」を入力して[Enter]を押します。
- 3 「パーティション番号」を入力して[Enter]を押します。
- 4「3」を入力して[Enter]を押します。
- 5「y」を入力して[Enter]を押します。

SVP>PR [Enter]

< <partition re<="" th=""><th>configu</th><th>iration- Di</th><th>isplay/Eo</th><th>dit part</th><th>itions</th></partition>	configu	iration- Di	isplay/Eo	dit part	itions
Partition	inform	nation	-		
# Blade	0S	HT	HDD I/F	HDD [GB]	Agent
0123456789					
ALL CCCCCCCCC					
0 C	D. C.	Default	Unknown	0	Yes
1 -C	D. C.	Default	Unknown	0	Yes
2	D. C.	Default	Unknown	0	Yes
3C	D. C.	Default	Unknown	0	Yes
4G	D. C.	Default	Unknown	0	Yes
5	D. C.	Default	Unknown	0	res
0 7 0	D. U.	Default	Unknown	0	res
/6	D. C.	Default	Unknown	0	res
8C_	D. C.	Default	Unknown	0	Tes
90	D. U.	Deraurt	UNKNOWN	0	162
0 Add Bla	de				
1 Delete	Blade				
2. Change	OS mode).			
3. Set Hyp	er Thre	ading mode	9.		
4. Set HDD	Interf	ace.			
5. Set HDD	Quotas				
	Quolas				
6. Agent I	nstall.				
6. Agent I Q. Quit.	nstall.				
6. Agent I Q. Quit. (0-6, [Q]) : <u>2</u>	nstall.				
6. Agent I Q. Quit. (0-6, [Q]) : <u>2</u> Select a Parti	nstall. [Enter]	. (0, 1, 2, 3	3, 4, 5, 6, 1	7, 8, 9, [Q]) : <u>0</u>
6. Agent I Q. Quit. (0-6,[Q]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode	Install. [Enter] tion No : HVM	. (0, 1, 2, 3 (0=Don't (3, 4, 5, 6, 3 Care, 1=L	7, 8, 9, [Q] inux, 2=W]) : <u>0</u> indows,
6. Agent I Q. Quit. (0-6, [Q]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode	[Enter] tion No HVM	. (0,1,2,3 (0=Don't (3, 4, 5, 6, Care, 1=L	7,8,9,[Q] inux,2=W]) : <u>0</u> indows,
6. Agent I Q. Quit. (0-6,[Q]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade	(Enter) tion No HVM inform	0. (0, 1, 2, 3 (0=Don't (nation HT	3, 4, 5, 6, ∵ Care, 1=L - HDD_1 / F	7, 8, 9, [Q] inux, 2=W HDD[GB]]) : <u>O</u> indows, Agent
6. Agent I Q. Quit. (0-6, [Q]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789	Install. [Enter] tion No : HVM inform OS	0. (0, 1, 2, 3 (0=Don't (nation HT	3,4,5,6, Care,1=L - HDD I/F	7, 8, 9, [Q] inux, 2=W HDD[GB]]) : <u>O</u> indows, Agent
6. Agent I Q. Quit. (0-6, [Q]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCCC	Install. [Enter] tion No : HVM inform OS	. (0, 1, 2, 3 (0=Don't (nation HT	3, 4, 5, 6, Care, 1=L - HDD I/F	7, 8, 9, [Q inux, 2=W HDD [GB]]) : <u>0</u> indows, Agent
6. Agent I Q. Quit. (0-6, [Q]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCCC 0 C	Lion No : HVM	(0,1,2,3 (0=Don't (nation HT Default	3, 4, 5, 6, Care, 1=L HDD I/F Unknown	7, 8, 9, [Q inux, 2=W HDD[GB] 0]) : <u>O</u> indows, Agent Yes
6. Agent I Q. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCCC 0 C 1 -C	Install. [Enter] tion No HVM Inform OS HVM D.C.	0. (0,1,2,3 (0=Don't (HT Default Default	3, 4, 5, 6, ⁻ - HDD I/F Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q] i nux, 2=W HDD [GB] 0 0]) : <u>O</u> indows, Agent Yes Yes
6. Agent I 9. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCCC 0 C 1 -C 2C	Install. [Enter] tion No HVM inform OS HVM D. C. D. C.	(0=Don't (HT Default Default Default	3, 4, 5, 6, Care, 1=L - HDD 1/F Unknown Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q] i nux, 2=W HDD [GB] 0 0 0 0]) : <u>O</u> indows, Agent Yes Yes Yes Yes
6. Agent I 9. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCC 0 C 1 -C 3C 3C	Install. Inform Info	(0=Don't (mation HT Default Default Default Default	3, 4, 5, 6, 7 Care, 1=L HDD 1/F Unknown Unknown Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q] inux, 2=W HDD[GB] 0 0 0 0 0 0 0]) : <u>0</u> indows, Agent Yes Yes Yes Yes
6. Agent I 9. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCCC 0 C 1 -C 3C 4C	Image: Constant of the second secon	. (0,1,2,3 (0=Don't (HT Default Default Default Default Default	3, 4, 5, 6, 7 Care, 1=L HDD 1/F Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q] inux, 2=W HDD[GB] 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0]) : <u>0</u> indows, Agent Yes Yes Yes Yes Yes Yes
6. Agent I 9. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCCCC 0 C 1 -C 3C 5C	Inform OS Info Inform OS Inform OS I	(0=Don't (mation HT Default Default Default Default Default Default Default	3, 4, 5, 6, 7 Care, 1=L HDD I/F Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q] inux, 2=W HDD[GB] 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0]) : <u>O</u> indows, Agent Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes
6. Agent I 9. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCCC 0 C 3C 3C 5C 6C	Image: Constraint of the second sec	. (0,1,2,3 (0=Don't (HT Default Default Default Default Default Default Default Default	3, 4, 5, 6, ⁻ 2are, 1=L HDD I/F Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q] inux, 2=W HDD[GB] 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0]) : <u>0</u> indows, Agent Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes
6. Agent I 9. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCCC 0 C 1 -C 3C 4C 5C 7C 7C	Image: Constant of the second seco	. (0,1,2,3 (0=Don't (mation HT Default Default Default Default Default Default Default Default Default	3, 4, 5, 6, ⁻ Care, 1=L HDD I/F Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q] inux, 2=W HDD[GB] 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0]) : <u>O</u> indows, Agent Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes
6. Agent I 9. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCCC 0 C 1 -C 2C 3C 4C 5 6C 8 8C	Image: Constant of the second seco	. (0, 1, 2, 3 (0=Don't (hation HT Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default	3, 4, 5, 6, ⁻ Care, 1=L HDD I/F Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q] i nux, 2=W HDD [GB] 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0]) : <u>O</u> indows, Agent Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes
6. Agent I 9. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 	Image: Constant of the second seco	. (0, 1, 2, 3 (0=Don't (HT Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default	3, 4, 5, 6, ⁻ Care, 1=L HDD I/F Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q] i nux, 2=W HDD [GB] 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0]) : <u>O</u> indows, Agent Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes
6. Agent I 9. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 	Image: Constant of the second seco	. (0, 1, 2, 3 (0=Don't (HT Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default	3, 4, 5, 6, ⁻ Care, 1=L HDD I/F Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q] inux, 2=W HDD[GB] 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0]) : 0 indows, Agent Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes
6. Agent I 9. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCCC 0 C 2C 3C 4C 6C 7 8 9C Confirm? (Y/[N	Image: constant of the second seco	. (0, 1, 2, 3 (0=Don't (HT Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default	3, 4, 5, 6, ⁻ Care, 1=L HDD I/F Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q] inux, 2=W HDD[GB] 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0]) : <u>0</u> indows, Agent Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes
6. Agent I 9. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCCC 0 C 3C 3C 6C 7 8 9C Confirm? (Y/[N Write complete	Image: Constant of the second seco	. (0, 1, 2, 3 (0=Don't (HT Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default	3, 4, 5, 6, 7 Care, 1=L HDD I/F Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q] inux, 2=W HDD [GB] 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0]) : <u>0</u> indows, Agent Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes
6. Agent I 9. Quit. (0-6, [0]) : <u>2</u> Select a Parti Enter OS mode Partition # Blade 0123456789 ALL CCCCCCCCCC 0 C 3C 3C 6C 7C 8C 9C Confirm? (Y/[N Write complete SVP>	Image: constant of the second seco	. (0, 1, 2, 3 (0=Don't (HT HT Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default Default	3, 4, 5, 6, 7 Care, 1=L HDD I/F Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown Unknown	7, 8, 9, [Q inux, 2=W HDD [GB] 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0]) : <u>0</u> indows, Agent Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes Yes

2.2.4 HVMファームウェア面の選択

⚠ 注意

1面しかインストールされていない場合、本設定は不要です。

マネジメントモジュールのHVMコマンドで、HVMファームウェア面を選択します。

- 1 「HVM」を入力して[Enter]を押します。
- 2「0」を入力して[Enter]を押します。
- 3 「ブレード番号」を入力して[Enter]を押します。
- 4 「HVMファームウェア面」を入力して[Enter]を押します。
- 5 「y」を入力して[Enter]を押します。
- 6「q」を入力して[Enter]を押します。

```
SVP>HVM [Enter]
<<HVM - HVM Status/Configuration>>
  -- HVM Information ---
# HVMboot HVMO
                                 HVM1
             17-20 (00-01)
0 0
                                 17-20 (00-02)
   中略
90
             17-20(00-01)
                                17-20 (00-02)
    0 . Edit HVM boot bank.
    Q. Quit.
(0, [Q]) : <u>0 [Enter]</u>
(0, [0]) : <u>0 [Enter]</u>
Enter blade number (0-9, [0]) : <u>0 [Enter]</u>
Enter boot bank : 0 (0, 1[unchange]) : <u>1 [Enter]</u>
  -- HVM Information ----
# HVMboot HVMO
                                 HVM1
             17-20 (00-01)
                                 17-20 (00-02)
0 1
   中略
9 0
             17-20 (00-01)
                                17-20 (00-02)
Confirm? (Y/[N]) : y [Enter]
- Writing setting was completed.
   -- HVM Information ----
# HVMboot HVMO
                                 HVM1
0 1
             17-20 (00-01)
                                 17-20 (00-02)
   中略
90
            17-20 (00-01)
                                17-20 (00-02)
    0 . Edit HVM boot bank.
    Q. Quit.
(0, [Q]) : <u>q [Enter]</u>
SVP>
```

<< ブレード番号(例では、0)</td><< HVMファームウェア面(例では、1)</td>

2.2.5 電源の投入

マネジメントモジュールのPCコマンドで、サーバブレードの電源を投入します。

- 1 「PC」を入力して[Enter]を押します。
- 2「0」を入力して[Enter]を押します。
- <mark>3</mark>「パーティション番号」を入力して[Enter]を押します。
- 4「0」を入力して[Enter]を押します。
- 5 「y」を入力して[Enter]を押します。

SVP>PC [Enter]

<<Power Control- Remote Power Control>> Partition # | Power Status | Timer Status | Time Partition 0 | Power OFF Not Set | ----min ----min Partition 1 | Power OFF | Not Set Partition 2 | Power OFF | Not Set ----min Partition 3 | Power OFF Not Set ____ --min Partition 4 | Power OFF | Not Set I ----min Partition 5 | Power OFF | Not Set ----min Partition 6 | Power OFF | Not Set |----min | Partition 7 | Power OFF | Not Set | ----min | Partition 8 | Power OFF Not Set ----min | | Not Set Partition 9 | Power OFF | ----min | - Switch status ----Switch # | Switch Type | Status | Power ON Switch 0 | Gbit Ether Switch 1 | Gbit Ether | Power ON Switch 2 | Fibre Channel | Power ON Switch 3 | Fibre Channel | Power ON 0 . Power on. 1 . Shutdown. F . Force power off. S . Switch module power control. Q. Quit. (0-1, F, S, [Q]) : <u>0 [Enter]</u> Select partition. (0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9, [a]=A||) : <u>0 [Enter]</u> << パーティション番号(例では、0) Enter Delay to Power on ([0]-1440, C=Cancel) : 0 [Enter] Confirm? (Y/[N]) : y [Enter] SVP>

2.2.6 BIOSの設定

BIOSを以下のとおりに設定してください。そのほかの設定は、デフォルト設定にしてください。 すでにBIOSの設定をしている場合、本設定は不要です。

項目	項目			設定値(推奨)	設定値と異なる場合に発生	サポート
					する現象	バージョン
Main	Advanced	NUMA Aware		Disabled	LPAR性能低下	~17-85
	Processor Options			Disabled /	-	17-86~
			*0	Enabled		
		ACPI SRAT F	Report 2	Enabled	LPAR性能低下	17-86~
		Intel@ HT Te	chnology	Enabled	プロセッサ数が半減	17-2X~
		Intel(R) Virtua	alization	Enabled	HVM起動不可能	17-2X~
		Technology	•			
Advanced	Advanced Chipset	Intel VT for	Intel VT for	Enabled	USBデバイス使用不可能	17-2X~
	Control	Directed I/O	Directed I/O			
		(VI-d)	(VI-d)			
	PhP Configuration	LAN1-1 Optic	n ROM Scan:	Enabled	2コントローフあるオンホー	17-2X~
		LAN1-2 Optic	on ROM Scan:	Enabled	FNICのうち1つ目のコントロ	
					ーラが使用不可能	
		Onboard LAN2 Control		Enabled	2コントローラあるオンボー	17-2X~
					ドNICのうち2つ目のコントロ	
					ーラが使用不可能	
					iSCSIブート実行不可能	17-88~
		iSCSI OPRO	M:	Disabled ³	SANブート実行不可能	17-2X~
				Enabled ^{*4}	iSCSIブート実行不可能	17-88~
Server	Console	COM Port Ad	ldress	On-board COM A	HVMスクリーン使用不可能	17-2X~
	Redirection	Baud Rate		9600		
		Console Type	9	VT100		
		Flow Control		None	4	
		Continue C.R	after POST	On		
Boot	Boot Priority order	1:		USB HDD:	HVM起動不可能	17-2X~
				Generic		
				STORAGE		
		2.			4	
		2.		Slot xx00 vxxxx		
		3:		PCI BEV: IBA GF	1	
		.		Slot xx01 vxxxx		

*1 NUMA Aware設定をEnabledにする場合は、その特性を十分に考慮してLPARにメモリとプロセッサを割り当てる必要があり

ます。基本的には、Disabledにすることを推奨します。

*2 NUMA Aware設定が[Enabled]のとき設定可能です。

*3 SANブートの場合は、[Disabled]に設定してください。

*4 iSCSIブートの場合は、[Enabled]に設定してください。

リモートコンソールを用いたBIOSの設定方法を以下に示します。

Press <F2> to enter SETUP」が表示されたら、[F2]を押します。



BladeSymphony BS320 Virtage セットアップガイド 基本構成編

- 2 [Main]-[Advanced Processor Options]に移動します。
 - HVMファームウェアバージョン 17-85以前は、[NUMA Aware]を[Disabled]に設定します。
 - HVMファームウェアバージョン 17-86以降は、[NUMA Aware]を[Disabled]または[Enabled]に設定します。 • HVMファームウェアバージョン 17-86以降は、[ACPI SRAT Report]を[Enabled]に設定します。
 - HVMファームウェアハーション「7-86以降は、[ACPI SRAT Report]を[Enabled]に設定します。
 ※NUMA Aware設定が[Enabled]のとき設定可能です。
 - [Intel@ HT Technology]を[Enabled]に設定します。
 - [Intel(R) Virtualization Technology]を[Enabled]に設定します。 Phoenix SecureCore(tm) Setup Utility

Advanced Processor Options	Item Specific Help
▶ CPU Power Management	
NUMA Aware	[Enabled]
ACPI SRAT Report	[Enabled]
Active Processors	[Max. Cores]
Intel0 HT Technology	[Enabled]
Intel(R) Virtualization Technology	[Enabled]
Execute Disable Bit	[Enabled]
Hardware Prefetcher	[Enabled]
Adjacent Cache Line Prefetch	[Enabled]
Discrete MTRR Allocation	[Disabled] V
F1 Help †↓ Select Item -/+ C	hange Values F9 Setup Defaults
Esc Exit ↔ Select Menu Enter S	elect ▶ Sub-Menu F10 Save and Exit

[Advanced]-[Advanced Chipset Control]-[Intel VT for Directed I/O (VT-d)]に移動します。
 [Intel VT for Directed I/O (VT-d)]を[Enabled]に設定します。

Advanced		
Intel VT for Directed I/O (Item Specific Help	
Intel VT for Directed I/O (VT-d) Interrupt Remapping Coherency Support ATS PassThrough DMA VT-d for Port 1 VT-d for Port 2 VT-d for Port 3 VT-d for Port 3 VT-d for Port 4 VT-d for Port 5 VT-d for Port 6 VT-d for Port 6 VT-d for Port 7 VT-d for Port 8	[Enabled] [Disabled] [Enabled] [Enabled] [Enabled] [Enabled] [Enabled] [Enabled] [Enabled] [Enabled] [Enabled] [Enabled]	Enable/Disable Intel Virtualization Technology for Directed I/O (VT-d) by reporting the I/O device assignent to UMM through DMAR ACPI Tables.
F1 Help 14 Select Item -/+	Change Values	F9 Setup Defaults

4 [Advanced]-[PnP Configuration]に移動します。

- [LAN1-1 Option ROM Scan]を[Enabled]に設定します。
- [LAN1-2 Option ROM Scan]を[Enabled]に設定します。
- [Onboard LAN2 Control]を[Enabled]に設定します。
- SANブートの場合は、[iSCSI OPROM]を[Disabled]に設定します。
 iSCSIブートの場合は、[iSCSI OPROM]を[Enabled]に設定します。

PnP Configu	ration	Item Specific Help
Onboard LAMI Control LAMI-1 Option ROM Scan: LAMI-2 Option ROM Scan: Onboard LAM2 Control ISCSI OPROM : SAS Option ROM Scan: Wake On LAM/PME	(<mark>Dabled</mark>) (Enabled] (Enabled] (Enabled] (Disabled] (Enabled] (Enabled]	Enable oe Disable the onboard LAN Device by setting item to th desired value.
21 Help 11 Select Ite	n -∕+ Change Va	ilues F9 Setup Defaults

- 5 [Server]-[Console Redirection]に移動します。
 - [Com Port Address]を[On-board COM A]に設定します。
 - [Baud Rate]を[9600]に設定します。
 - [Console Type]を[VT100]に設定します。
 - [Flow Control]を[None]に設定します。
 - [Continue C.R. after POST]を[On]に設定します。

Console Re	direction	Item Specific Help		
Com Port Address Baud Rate Console Type Flow Control Continue C.R. after PO	[<u>Dn-board COM A</u>] [9600] [VT100] [None] ST: [On]	If enabled, it will use a port on the motherboard.		

- [Boot]に移動します。
 - [USB HDD: Generic STORAGE DEVICE]を[Boot Priority order]に設定します。
 - [PCI BEV: IBA GE Slot xx00 vxxxx]を[Boot Priority order]に設定します。
 - [PCI BEV: IBA GE Slot xx01 vxxxx]を[Boot Priority order]に設定します。

Main	Adva	nced	Security	Serve:	r Boo	t Exit
Deet						Item Specific Help
BOOL	USB HDD	· Cener:	TORACE	DELLTOF		
2:	PCT REU	: TBA GI	E Slot 0200	L u1322		Keus used to uiew or
3:	PCI BEU	: IBA G	E Slot 0201	v1322		configure devices:
4:						Up and Down arrows
5:						select a device.
6:						<+> and <-> moves
7:						the device up or down.
8:						<f> and <r> specifies</r></f>
Exclu	led from	boot o	rder:			the device fixed or
	Legacy	Network	Card			removable.
	BOOTADI	e Add-11	n Cards			<pre><x> exclude or include</x></pre>
						(Shift + 1) enables or
						disables a deuice
						(1 - 4) loads default
						boot sequence.
F1 H Esc E:	elp †↓ cit ↔	Select Select	Item -/+ Menu Ente	Change r Select	Values ▶ Sub-Mer	F9 Setup Defaults nu F18 Save and Exit

••• 補足

■ [x]キーにより、[Boot Priority order]に移動することができます。

- 7 [Exit]に移動します。
 - [Exit Saving Changes]を選択します。

_	Phoenix SecureCore(tm) Setup Utility							
Main	Advanced	l Securi	ity	Server	Boot	Exit		
Ewit 9	uing Chang	100			I	tem Spec	ific Help	
Exit D Load Se Discare Save Cl	iscarding (etup Defau) I Changes nanges	lts Lits			Exi sav CMO	t System e your cl S.	Setup and hanges to	
F1 He Esc Ex	lp 14 Se it ↔ Se	elect Item elect Menu	-/+ Enter	Change Val Execute Co	ues mmand	F9 Seti F10 Savi	up Defaults e and Exit	

8 サーバブレードが再起動します。

	補	足
--	---	---

■ Basicで起動する場合は、上記の設定をデフォルト設定に戻してください。

2.2.7 HVMの初期設定

1 マネジメントモジュールのEXコマンドで、SVPコンソールを終了します。

SVP>EX [Enter]

2 HVMスクリーンに移行します。

	======< System Console Main Menu >====================================
S)	System (SVP command mode)
P0)	OS console #0
P1)	OS console #1
P2)	OS console #2
P3)	OS console #3
P4)	OS console #4
P5)	OS console #5
P6)	OS console #6
P7)	OS console #7
P8)	OS console #8
P9)	OS console #9
X, Ctrl-D)	LOGOUT
PLEASE SELECT N	IENU: <u>P0 [Enter]</u> << パーティション番号(例では、P0)

3 電源投入から約5~6分後にInitializing HVMのメッセージが表示されます。

+-	- System Configu	ration	+		+
	HVM ID	HVM_0000	 Alert Language Virtual Console Port	Japanese 20801	
	HVM IP Address Subnet Mask Default Gateway	0. 0. 0. 0 255. 255. 255. 255 0. 0. 0. 0		20001	
	BSM1 IP Address BSM2 IP Address BSM3 IP Address BSM4 IP Address BSM1 Alert Port BSM2 Alert Port BSM3 Alert Port BSM4 Alert Port	192.168.0.168 0.0.0.0 + 0.0.0.0 0.0.0.0 Init 20079 20079 + 20079 Default	HVM CLI1 IP Address Address Address ializing HVM Address Address Address +Address HVM CL17 IP Address HVM CL18 IP Address	0. 0. 0. 0 0. 0. 0. 0	
 +- 	Wariagement Patri VNIC System No:	0	 		 +
+ +	F10:Update Syste	em Config			Esc:Menu

4 約2~3分後にHVMの初期化が完了し、Initializing HVMのメッセージが消えます。

- 5 HVMを導入し1回目のHVMの起動時は、System Configurationスクリーンが表示されます。 本スクリーンで以下の設定を行うことで、HVM Menuスクリーンが表示され、HVMスクリーンでの操作ができます。
 - HVM IP Addressの設定

```
HVM IP Addressにカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。
HVM IP Addressを入力して[Enter]を押します。
```

+	- System Configur	ration			+
	HVM ID	HVM_0000	Alert Language	Japanese	
			Virtual Console Port	20801	
	HVM IP Address	0. 0. 0. 0			
	Subnet Mask	255. 255. 255. 255			
	Default Gateway	0. 0. 0. 0			
	BSM1 IP Address	192. 168. 0. 168	HVM CLI1 IP Address	0. 0. 0. 0	
	BSM2 IP Address	0. 0+	+	0.0.0.0	
	BSM3 IP Address	0.0 Change of	F HVM IP Address	0. 0. 0. 0	
	BSM4 IP Address	0.0		0. 0. 0. 0	
	BSM1 Alert Port	200 192. 1	68. 0. 20	0. 0. 0. 0	
	BSM2 Alert Port	200+	+	0. 0. 0. 0	
	BSM3 Alert Port	20079	HVM CLI7 IP Address	0.0.0.0	
	BSM4 Alert Port	20079	HVM CLI8 IP Address	0.0.0.0	
	Management Path	Default			
	VNIC System No:	0			
+			·		+
	F10:Update Syste	em Config			Esc:Menu

• Subnet Maskの設定

Subnet Maskにカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。 Subnet Maskを入力して[Enter]を押します。

+					+
+-	- System Configu	ration	.+		+
İT.			1		L.
ii.	HVM ID	HVM 192168020	Alert Language	Japanese	ii
ii.		-	Virtual Console Port	20801	ii
ii.	HVM IP Address	192 168 0 20			ii
ii.	Subnet Mask	255 255 255 255			ii
ii.	Default Gateway	0 0 0 0			ii
	bondune datowdy	0. 0. 0. 0			ii
	RSM1 IP Address	192 168 0 168	HVM CLI1 IP Address	0 0 0 0	
	BSM2 ID Address	0.0 +		0.0.0.0	
	BSM2 IP Address		of Sub Net Mask ls	0.0.0.0	
	RCMA ID Address		of oub Net mask 13	0.0.0.0	
	RCM1 Alart Part	20071 255	255 255 0	0.0.0.0	
	DOWN Alert Port	2007 2007	200.200.0 [8	0.0.0.0	
	DSWZ Alert Port	2007+	+S	0.0.0.0	
	BSM3 Alert Port	20079	HVM CLI/ IP Address	0.0.0.0	
	BSM4 Alert Port	20079	HVM CLI8 IP Address	0.0.0.0	
	Management Path	Default			
	VNIC System No:	0			
+-			+		+
					l
۰ ا	F10:Update Svste	em Config			Esc:Menu l

- VNIC System Noの設定
 - VNIC System Noにカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。 VNIC System Noを入力して[Enter]を押します。

+- + 1	- System Configu	ration	-+ I		+
	HVM ID	HVM_192168020	 Alert Language Virtual Console Port	Japanese 20801	ļ
	HVM IP Address Subnet Mask Default Gateway	192. 168. 0. 20 255. 255. 255. 0 0. 0. 0. 0			
	BSM1 IP Address BSM2 IP Address BSM3 IP Address	192. 168. 0. 168 0. 0. 0+	 HVM CLI1 IP Address +ss ystem No Setting _ lss	0.0.0.0 0.0.0.0	
	BSM4 IP Address BSM1 Alert Port BSM2 Alert Port	0. 0. 0 20079 20079+	1 ss 1 ss	0. 0. 0. 0. 0 0. 0. 0. 0 0. 0. 0. 0	
	BSM3 Alert Port BSM4 Alert Port	20079 20079	HVM CLI7 IP Address HVM CLI8 IP Address 	0. 0. 0. 0 0. 0. 0. 0	
 +	Management Path VNIC System No:	Default O	 -+		 +
; ;	F10:Update Syste	em Config			 Esc∶Menu

VNIC System No は、共有 NIC および仮想 NIC の MAC アドレスの重複を防ぐため、MAC アドレス生成に使用されます。したがって、BS320、BS500、BS1000、BS2000 などを含むすべての HVM システムにてユニークな値を設定してください。

▲注意

 6 設定した内容を反映させるため、[F10] (Update System Config)を押すと、サブスクリーンが表示されます。 Yesを選択して[Enter]を押します。

+- System Configu	ration			+
 HVM ID 	HVM_192168020	 Alert Language J Virtual Console Port 2	lapanese 20801	
HVM IP Address	192. 168. 0. 20			i i
Subnet Mask	255. 255. 255. 0			
Default Gateway	0. 0. 0. 0			
+-			-+	
BSM1 IP Addres	Save	e settings?	. 0. 0	
BSM2 IP Addres	This operation will require a few minutes.			
BSM3 IP Addres			. 0. 0	
BSM4 IP Addres		Yes	. 0. 0	
BSM1 Alert Por		No	. 0. 0	
BSM2 Alert Por+			+. 0. 0	
BSM3 Alert Por	Save all changes		. 0. 0	
BSM4 Alert Por+-			+. 0. 0	
Management Path	Default			
VNIC System No:	1			1
+				+
1				
F10:Update Syste	em Config			Esc∶Menu

Config Changingのメッセージが表示されます。

+- 1	- System Configu	ration	⊧ ۱		++
	HVM ID	HVM_192168020	 Alert Language Virtual Console Port	Japanese 20801	
Ï	HVM IP Address Subnet Mask	192. 168. 0. 20 255. 255. 255. 0			ii ii
ij	Default Gateway	0. 0. 0. 0			
	BSM1 IP Address	192. 168. 0. 168	 HVM CLI1 IP Address	0. 0. 0. 0	
	BSM2 IP Address BSM3 IP Address	0. 0. 0. 0 0. 0. 0. 0 +	HVM CLI2 IP Address + Address	0. 0. 0. 0 0. 0. 0. 0	
	BSM4 IP Address BSM1 Alert Port	0. 0. 0. 0 Confi 20079 +	ig Changing Address + Address	0. 0. 0. 0 0. 0. 0. 0	
ii Ii	BSM2 Alert Port BSM3 Alert Port	20079 20079	HVM CLI6 IP Address	0.0.0.0	ii
ij	BSM4 Alert Port	20079	HVM CLI8 IP Address	0. 0. 0. 0	ii ii
	Management Path	Default			
 +-	VNIC System No:	1	 +		 +
 +					 +
I	F10:Update Syste	em Config			Esc:Menu

約2~3分後にNormal Endのメッセージが表示されます。

+				
+- 1	- System Configu	ration	+	
ii	HVM ID	HVM_192168020	Alert Language Japanese	;
	HVM IP Address Subnet Mask	192. 168. 0. 20 255. 255. 255. 0		
	Default Gateway	0. 0. 0. 0		
	BSM1 IP Address	192. 168. 0. 168	HVM CLI1 IP Address 0.0.0.0	11
	BSM2 IP Address	0. 0. 0. 0	HVM CLI2 IP Address 0.0.0.0	11
	BSM3 IP Address	0. 0. 0. 0	++IP Address 0.0.0.0	11
ÌÌ	BSM4 IP Address	0. 0. 0. 0	Normal End IP Address 0.0.0.0	Î
ÌÌ	BSM1 Alert Port	20079	++IP Address 0.0.0.0	Î
ÌÌ	BSM2 Alert Port	20079	HVM CLI6 IP Address 0.0.0.0	Î
ÌÌ	BSM3 Alert Port	20079	HVM CLI7 IP Address 0.0.0.0	Î
ij.	BSM4 Alert Port	20079	HVM CLI8 IP Address 0.0.0.0	İ
	Newsweet Dath	Default		
	Wanagement Path	Derault		
	VNIC System No:	I	1	
+- 				+
+ 	F10:Update Svste	em Config		Esc:Menu

▲ 注意

 [F10] (Update System Config)による操作は、HVM 稼働中の一時的な変更手段を本スクリーンにて 提供するものであり、HVM を再起動すると設定した内容は消えてしまいます。
 設定した内容を保存するためには、HVM Menuスクリーンから[F9] (Save Configuration)を実行してく ださい。 7 HVMシステム時刻ゾーンの設定、NTPによるHVMシステム時刻の時刻合わせ設定を行います。

【HVMファームウェアバージョン 17-7X以前】

- Date and Timeスクリーンに移動します。
- Date and Timeスクリーンで、「F7: Change System Time Zone」を押すと、サブスクリーンが表示されます。 タイムゾーンを設定して[Enter]を押します。 ※日本国内では+9:00に設定してください。

```
+- System Date and Time -
|| Date and Time yyyy/mm/dd hh:mm:ss Time Zone + 9:00 Adjust LPAR Time ||
1+
```

【HVMファームウェアバージョン 17-8X以降】

- ▲注意 HVM ファームウェアバージョン 17-8X 以降では、NTP による HVM システム時刻の時刻合わせを行う ことを推奨します。 NTPの設定を有効後、構成情報の保存を必ず行ってください。構成情報の保存を行わずに HVM を再 起動した場合、LPAR の RTC 時刻が NTP 補正時間分ずれるおそれがあります。 NTP による HVM システム時刻の時刻合わせを行う場合、マネジメントモジュール、HVM で同一の NTP サーバおよびタイムゾーンを使用してください。 同一の NTP サーバおよびタイムゾーンを使用しない場合、それぞれの時刻がばらばらとなり、障害が 発生したときの正しい時刻がわからなくなります。
- マネジメントモジュールの自動時刻補正が有効であり、NTPサーバのIPアドレスが設定されていること を事前に確認してください。
- (a) マネジメントモジュールに設定された NTP サーバによる時刻合わせを行う場合 (マネジメントモジュールファームウェアパージョン A108X以降)
- Date and Timeスクリーンに移動します。
- Date and Timeスクリーンで、Import ConfigIcカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示 されます。SVPを選択して[Enter]を押します。

7	+	+
8	Select Time Setting Imp	oort
9		
10	None None	
+	SVP	+
1	+	+/ [PageDown]:Page Down
+- System Date and Time		+
Date and Time yyyy/	′mm∕dd hh∶mm∶ss Time Zone	e + 9:00 Adjust LPAR Time
+-Setting		+
Import Config None		
TimeSync Disable		
+		+

• System Service Stateスクリーンで、NTPがSYNCになっていることを確認します。

+-	System Service	;-		++	Virtual LAN	I S	egm	ent	St	ate-				-+
	SVP Access :		RUN	11	PORT#/NIC#	:	۷	1	2	3	4	5	6	
	BSM Access :		RUN		а	:	D	Α	D					
	HA Monitor :		RUN	11	b	:	D	Α	D					
	NTP :		SYNC	11	С	:	D							
			Force Recovery		d	:	D							
+		-		++										-+

- (b) NTP Server 1~2 に設定された NTP サーバによる時刻合わせを行う場合 (マネジメントモジュールファームウェアバージョン A107X以前)
- Date and Timeスクリーンに移動します。
- Date and Timeスクリーンで、「F7:Change System Time Zone」を押すと、サブスクリーンが表示されます。 タイムゾーンを設定して[Enter]を押します。
 ※日本国内では+9:00に設定してください。

+- System Date an	d Time				+
Date and Time	yyyy/mm/dd hh:mm:ss	Time Zone	+ 9:00	Adjust LPAR	Time
+-Setting					+
Import Config N	one				
TimeSync D	isable				
+					+

Date and Timeスクリーンで、Settingにカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。NTPを選択して[Enter]を押します。

7 +		-+
8	Select Setting Display	ı i
9		i i
10	Setting	i i
+	NTP	+
+		-+p / [PageDown]:Page Down
+- System Date and Time		+
Date and Time yyyy/mm/	dd hh:mm:ss Time Zone	+ 9:00 Adjust LPAR Time
+-Setting		+
Import Config None		
TimeSync Disable		
+		+

• Date and Timeスクリーンで、NTPサーバのIPアドレスを設定します。

+- System Date and Time			+
Date and Time yyyy/mm/dd hh	:mm:ss Time Zone	+9:00 Adj	ust LPAR Time
+-NTP(Disable)			+
NTP Server 1 XXX.XXX.XXX.XXX			
NTP Server 2 XXX.XXX.XXX.XXX			
+			+

Date and Timeスクリーンで、NTPにカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。
 Settingを選択して[Enter]を押します。

7	+	+
8	Select Setting Display	/ 1
9		
10	Setting	
+	NTP	+
	+	+p / [PageDown]:Page Down
+- System Date and Time		+
Date and Time yyyy/mm	/dd hh:mm:ss Time Zone	+ 9:00 Adjust LPAR Time
+-NTP(Disable)		+
NTP Server 1 XXX. XXX. XX	X. XXX	
NTP Server 2 XXX. XXX. XX	X. XXX	
+		+

• Date and Timeスクリーンで、TimeSynclcカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。NTPを選択して[Enter]を押します。

7	++
8	Select NTP Server
9	
10	Disable
+	· NTP +
-	++e Up / [PageDown]:Page Down
+- System Date and Time	+
Date and Time yyyy/mm/de	ld hh:mm:ss Time Zone + 9:00 Adjust LPAR Time
+-Setting	+
Import Config None	
TimeSync Disable	
+	+

• System Service Stateスクリーンで、NTPがSYNCになっていることを確認します。

+-	System Servic	e			++	Virtual L	.AN	S	egm	ent	St	ate∙				-+	
	SVP Access	:	RUN		11	PORT#/NIC)#	:	۷	1	2	3	4	5	6		
	BSM Access	:	RUN		11	а		:	D	Α	D						
	HA Monitor	:	RUN		11	b		:	D	Α	D						
	NTP	:	SYNC		11	С		:	D								
			Force R	Recovery	11	d		:	D								
+-					++											-+	

8 HVMスクリーンで設定した内容を保存します。

HVM Menuスクリーンに移動します。 HVM Menuスクリーンで[F9] (Save Configuration)を押します。

+ Menu [HVM_192168020] I	yyyy/mm/dd hh:mm:ss	-+
Logical Partition Configu	ation System Configuration	i
Logical Processor Configu	ation System Service State	i
Physical Processor Config	ration Date and Time	i
PCI Device Information	HVM Options	Í
PCI Device Assignment	LPAR Usage	Í
VNIC Assignment	Front Panel	Í
Shared FC Assignment	HVM System Logs	Í
Allocated FC Information	Firmware Version Information	Í
+ Tips	+	+
F3 : Activate F	: LPAR Screen	
F4 : Deactivate F	: Save Configuration	
F5 : Reactivate		
F6 : Add Definition A	t + t : Screen Refresh	
F7 : Remove A	t + r : HVM System Shutdown	
Configure logical partitic	ing of processors and memory	+
:Move Cursor Enter:Se	ect HVM Ver. : VV-RR(TT-K	K)

以降、HVMスクリーンでの操作ができます。

2.3 LPARの構築

2.3.1 LPARの作成

LPARの作成は、Logical Partition Configurationスクリーンで行います。

Logical Partition Configurationスクリーンで[F6] (Add)を押すと、サブスクリーンが表示されます。
 LPAR番号を選択して[Enter]を押します。

+-	Logical	Partit	i on (LP	AR) C	onfig	urat	ion					+
	# Name	Sta	Scd	Pro	Grp+			+ VN	ID	AA AC PC VC	PB	1
II.	1				I	Ad	d LPAR					Í
	2											
	3					1	NO_NAME					
	4					2	NO_NAME					
	5					3	NO_NAME					
	6					4	NO_NAME					
	7					5	NO_NAME					
	8					6	NO_NAME					
	9					7	NO_NAME					
11 '	10					8	NO_NAME					
						9	NO_NAME	Page	e Up) / [PageDowr	n] : Pag	e Down
+						10	NO_NAME					+
+-	Logical	Inform	ation			11	NO_NAME		++-	– Physical Ir	nforma	tion+
			Pro	Shr	Ded	12	NO_NAME	VN		User Memory	: 11	800
	Assign To	otal	0	0	0	13	NO_NAME	0		Processors	: 16	6(16)
	Act Total	l	0	0	0	14	NO_NAME	0		Shared	: 0	
	Remain					15	NO_NAME			Dedicate	: 0	
+						16	NO_NAME		++-			+
					+			+				
F1	VCAssign	n F2∶Me	mAlloc	Dsp F	3:Act	F4:	 Deact F5	Read	t F	 6:Add F7:Ren	 10ve	Esc:Menu

2 当該LPARのName列にカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。 LPAR名称を入力して[Enter]を押します。



3 LPAR名称が設定されます。

# Name Sta	Scd	Pro	GrpSrv	Mem	VN ID	AA	AC PC	VC	PB	
1 LPAR1 Dea	a D	1	0 100	1024	0 Y	*	N *	Ν	BIOS	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
0										
8										
8 9										
8 9 10										
8 9 10				[PageUp]:	Page U	р/	[Page[Dowr	n]:Page Do	own
8 9 10				[PageUp] :	Page U	p /	[Page[Dowr	n]:Page Do	own
8 9 10 	 nation			[PageUp] :	Page U ++	p / – Ph	[Page[ysica	Dowr	n]:Page Do 	own
8 9 10 	nation Pro	 	 Ded	[PageUp] : Mem	Page U VN	p / – Ph Use	[Page[ysical r Memo	Dowr I Ir bry	n]:Page Do nformatior : 11008	own
8 9 10 	nation Pro 1	Shr 0	 Ded 1	[PageUp] : Mem 1024	Page U 	p / Use Pro	[Page[ysical r Memo cessor	Dowr I Ir Dry 's	n]:Page Do nformatior : 11008 : 16(16)	own
8 9 10 	nation Pro 1 0	 Shr 0 0	Ded 1 0	[PageUp] : Mem 1024 0	Page U 	p / Ph Use Pro	[Page[ysica r Memo cessor Shareo	Down I Ir Dry rs	n]:Page Dc 	own
8 9 10 	nation Pro 1 0	Shr 0 0	Ded 1 0	[PageUp] : Mem 1024 0 11008	Page U 	p / Ph Use Pro	[Page[ysica ysica r Memo cessor Shareo Dedica	Dowr I Ir Dry 's d ate	n]:Page Do 	own
8 9 10 - Logical Inform Assign Total Act Total Remain	nation Pro 1 0	Shr 0 0	Ded 1 0	[PageUp] : 	Page U VN 0 0	p / - Ph Use Pro	[Page[ysica r Memo cesson Shareo Dedica	Dowr I Ir Dry rs d ate	n]:Page Do nformatior : 11008 : 16(16) : 0 : 0	own 1

••• 補足

- LPAR名称は31文字以内で設定してください。ただし、HVMスクリーンでの表示は8文字までとなります。(9文字目以降を設定した場合は、8文字目が'~'表示となります)
- 使用できる文字は、'0'~'9'、'a'~'z'、'A'~'Z'、'-'、'_'ですが、LPAR名称の先頭に使える文字は、'a'~'z'、'A'~ 'Z'となります。
- LPAR名称は、HAモニタ機能などで、LPARの識別に使用します。HVMシステム内でユニークな名称を設定してください。
2.3.2 プロセッサの設定

スケジューリングモード、プロセッサの設定は、Logical Partition Configurationスクリーンで行います。 HVMファームウェアバージョンにより画面操作が異なります。

スケジューリングモードを共有モードにする場合

【HVMファームウェアバージョン 17-4X以前】

1 当該LPARのShr列にカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。 プロセッサ数を入力して[Enter]を押します。



2 スケジューリングモード、プロセッサ数が設定されます。

+- Logical Part	tition(L	.PAR)	Сог	nfigur	ation								+
# Name S	Sta Pro	Shr	Ded	Srv	Mem	VN I	ID A	AA AC	PC VC	PB			
1 LPAR1 [Dea 2	2	0	100	1024	0	Y	* N	N N	BIOS			
2													
3													Í
4													Í
5													Í
6													i
7													i
i 8													i
9													
9 10													
9 10 					ГРая	ceUp	∶Pa	age U	o / [P;	ageDov	wn]:Page	 Down
9 10 					[Pag	geUp]	: Pa	age U	o / [P	ageDoi	wn.]:Page	 Down
9 10 +					[Pag	geUp]	:Pa	age U P	o / [Pa 	ageDov 	wn.]:Page 	 Down ++
9 10 +	ormation Pro	 Shr	Ded		[Pag 	geUp] VN	:Pa +	age U ⊦+ P Us	o / [Pa nysica er Mem	ageDov Info ory	wn orr	Page 	 + MB
9 10 + +- Logical Info Assign Total	ormation Pro 2	 Shr 2	Ded 0		[Pag Mem 1024	geUp] VN 0	:Pa + 	age U ⊦+ P Us Pr	o / [Pa nysica er Mem ocesso	ageDov I Info ory rs	wn orr :]:Page I nation - 11008 16(16)	 + MB
9 10 + +- Logical Infc Assign Total Act Total	ormation Pro 2 0	Shr 2 0	Ded 0 0		[Pag Mem 1024 0	geUp] VN 0 0	:Pa + 	age U ++- P Us Pr	o / [Pa nysica er Mem ocesso Share	ageDov Info ory rs d	wn orr :]:Page I nation - 11008 16(16) 0	 +
9 10 +- Logical Info Assign Total Act Total Remain	ormation Pro 2 0	Shr 2 0	Ded 0 0		[Pag Mem 1024 0 11008	geUp] VN 0 0	:Pa + 	age U ++- P Us Pr 	o / [Pa nysica er Mem ocesso Share Dedic	ageDow I Info ory rs d ate	wn orr : :]:Page I mation - 11008 16(16) 0 0	 +
9 10 +- Logical Info Assign Total Act Total Remain +	ormation Pro 2 0	Shr 2 0	Ded 0 0		[Pag Mem 1024 0 11008	geUp] VN 0 0	:Pa + 	age U Us Pr 	b / [P hysica er Mem bocesso Share Dedic	ageDov I Info ory rs d ate	wn orr : :]:Page I nation - 11008 16(16) 0 0	 +
9 10 +- Logical Info Assign Total Act Total Remain +	prmation Pro 2 0 f shared	Shr 2 0	Ded 0 0	sors	[Pag Mem 1024 0 11008	geUp] VN 0 0	:Pa + 	age U P Us Pr 	b / [P, nysica er Mem ocesso Share Dedic	ageDov I Info ory rs d ate	wn orr : :]:Page I mation - 11008 16(16) 0 0	 +

【HVMファームウェアパージョン 17-6X以降】

当該LPARのScd列にカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。
 スケジューリングモード(S:共有モード)を選択して[Enter]を押します。

# Name S	Sta Scd	Pro	Grp S	Srv Me	n VN	ID	AA	AC	PC V	/C	РВ	
1 LPAR1 D	Dea D	1	0	100 102	4 0	Y	*	Ν	*	NE	3I0S	
2												
3												
4												
5												
6 +	+								+	÷		
7	Logical	Proc	essors	s Schedulin	g mod	e A	ssig	gnme	nt			
8												
9				S								
10				D								
+	+								+	wn]]:Page [Down
+	Shared	Sched	uling	Mode								
⊢ Logical Inf+									+	In	formatio	on
	Pro	Shr	Ded	Me	n VN		Use	er M	emor	·у	: 11008	B
Assign Total	1	0	1	102	40		Pro	oces	sors	5	: 16(16	6)
Act Total	0	0	0		0 0			Sha	red		: 0	
Remain				1100	В			Ded	icat	e	: 0	
						-++						
Logical proof	ssors so	hedul	ing mo	ode								

2 スケジューリングモードが設定されます。

⊢ Logical Parti	LION(LP	/	onnigunat							
# Name St	a Scd	Pro	Grp Srv	Mem	VN	ID A	A AC F	C VC	PB	
1 LPAR1 De	a S	1	0 100	1024	0	Y	* N	N N	BIOS	
2										
3										
4										
5										
6										
7										
1										
8										
8										
8 9										
8 9 10					Dogo	lla	/ [Doo	- Dow		Down
8 9 10				[PageUp] :	Page	Up	/ [Pag	eDow	n]: Page	Down
8 9 10 				[PageUp] :	Page	Up 	/ [Pag 	eDow	n]:Page 	Down
8 9 10 	mation Pro	 Shr	 	[PageUp] : 	Page	Up ++	/ [Pag Physic ser Me	eDow	n]:Page 	Down on 8
8 9 10 Logical Infor Assign Total	mation Pro 1	 Shr 1	Ded	[PageUp] : Mem 1024	Page VN 0	Up ++ U P	/ [Pag Physic ser Me	eDow al I mory	n]:Page nformatio : 1100 : 16(1)	Down on 8 6)
8 9 10 	mation Pro 1	 Shr 1	Ded 0	[PageUp] : Mem 1024 0	Page VN 0	Up ++- U P	/ [Pag Physic ser Me rocess Shar	eDow al I mory ors	n]:Page 	Down on 8 6)
8 9 10 Logical Infor Assign Total Act Total Remoin	mation Pro 1 0	Shr 1 0	Ded 0 0	[PageUp] : 	Page VN 0 0	Up ++- U P 	/ [Pag Physic ser Me rocess Shar Dedi	eDow al I mory ors ed	n]:Page 	Down on 8 6)
8 9 10 Logical Infor Assign Total Act Total Remain	mation Pro 1 0	Shr 1 0	Ded 0 0	[PageUp] : Mem 1024 0 11008	Page VN 0 0	Up ++ U P 	/ [Pag Physic ser Me rocess Shar Dedi	eDow al I mory ors ed cate	n]:Page nformation : 11000 : 16(1) : 0 : 0	Down on 8 6)

3 当該LPARのPro列にカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。 プロセッサ数を入力して[Enter]を押します。

# Name Sta	Scd	Pro	Grp	Srv	Mem	VN	ID	AA	AC	PC	VC	PB
1 LPAR1 Dea	S	1	0	100	1024	0	Y	*	Ν	Ν	Ν	BIOS
2												
3												
4												
5												
6												
7												
8 +	·								+			
9		The n	umber	of L	ogical P	roce	esso	ors	1			
10					-				Í			
				2	2				Í	geD	owr	n]:Page Down
	·								+			
— Logical Informat	tion						-++-	- Ph	ysi	cal	Ir	nformation -
	Pro	Shr	Ded		Mem	VN		Use	r M	emo	ry	: 11008
Assign Total	1	1	0		1024	0		Pro	ces	sor	s	: 16(16)
Act Total	0	0	0		0	0			Sha	red		: 0
Remain					11008				Ded	ica	te	: 0
							-++-					
The number of log	gical	proc	essor	s								

4 プロセッサ数が設定されます。

+- logical Partition(L	PAR) (onfigurat	ion								+
# Name Sta Scd	Pro	Grp Srv	Mem	VN	ID	AA A	C PC	VC	PB		ii ii
1 LPAR1 Dea S	2	0 100	1024	0	Y	*	N N	Ν	BIC)S	ii
2											ii ii
3											- 11
4											
5											11
6											
7											
8											
9											
11 10											
10			[Pagello] ·	Dage	. Hr	、 / r	Danol	Dow	-1 · C	2000	 Down
10 +			[PageUp]:	Page	e Up) / [Page	Dow	n]∶F	age	 Down +
10 +			[PageUp] :	Page 	: Up) / [Pagel	Dowi 	n]∶F nfor	Page 	 Down + on+
10 +	Shr	 Ded	[PageUp] : Mem	Page	: Up) / [Phy User	Pagel sica	Down I In ory	n]:F nfor :	Page mati	 Down + on+ 8
10 +	Shr 2	Ded 0	[PageUp] : Mem 1024	Page VN 0	: Up) / [Phy User Proc	Pagel sica Memo esso	Down I In ory rs	n]:F nfor :	Page mati 1100 16(1	 Down + on+ 8 6)
10 +	Shr 2 0	Ded 0 0	[PageUp] : Mem 1024 0	Page VN 0 0	: Up) / [Phy User Proc	Pagel sica Memo esso Share	Down I In pry rs d	n]:F nfor : :	Page mati 1100 16(1 0	 Down + on+ 8 6)
10 +	Shr 2 0	Ded 0 0	[PageUp] : Mem 1024 0 11008	Page VN 0 0	: Up) / [Phy User Proc S	Pagel vsica Memo cesso Ghare Dedica	Down I In ory rs d ate	n]:F nfor : : :	Page mati 1100 16(1 0 0	 Down + on+ 8 8 6)
10 	Shr 2 0	Ded 0 0	[PageUp] : Mem 1024 0 11008	Page VN 0 0	e Up) / [- Phy User Proc S	Pagel vsica Memo sesso Share Dedica	Down I In ory rs d ate	n] : F 1for : : :	Page mati 1100 16(1 0 0	 Down + on+ 8 8 6) +
10 +Logical Information Pro Assign Total 2 Act Total 0 Remain +	Shr 2 0	Ded 0 0 eessors	[PageUp] : 	Page VN 0 0	: Ur 	- Phy User Proc S	Pagel sica Memo sesso Share Dedic	Down I In ory rs d ate	n] : F i : : :	Page mati 1100 16(1 0 0	 Down + on+ 8 8 6) +
10 + Logical Information Pro Assign Total 2 Act Total 0 Remain +	Shr 2 0	Ded 0 0	[PageUp] : Mem 1024 0 11008	Page VN 0 0	: Ur -++- ++-	- Phy User Proc S C	Pagel vsica Memo sessol Share Dedica	Down I In ory rs d ate	n] : F ifor : : :	Page mati 1100 16(1 0 0	Down + on+ 8 6) + 0: Monul

スケジューリングモードを占有モードにする場合

【HVMファームウェアバージョン 17-4X以前】

 当該LPARのDed列にカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。 プロセッサ数を入力して[Enter]を押します。

+													
+- Logical Part	tition(LP	AR)	Con	figurati	on –								+
# Name 3	Sta Pro S	hr	Ded	Srv M	em V	N ID	AA	AC	PC VC	PB			
1 LPAR1 [Dea 1	1	0	100 10	24	0 Y	*	Ν	N N	BIO	S		
2													
3													
4													Î
1 5													ii
6													ii
ii 7													ii
8	+									+			ii
9	l The n	umb	er o	of Dedica	ted	ogi	cal	Pro	cesso	rs I			ii
II 10	1					0-				i			ii
ii	i				2					i	own]:Page	Down II
+	+									+			+
+- Logical Info	ormation						-++-	- Ph	ysica	l In	for	mation	+
ii -	Pro S	hr	Ded	M	em	VN		Use	r Memo	ory	:	11008	3 MB
Assign Total	1	1	0	10	24	0	ii	Pro	cessoi	rs	:	16 (16)	ii
Act Total	0	0	0		0	0	ii		Shared	d	:	0	ii
Remain				110	08		ii		Dedica	ate	:	0	ii
+							-++-						+
The number of	f dedicat	ed	proc	essors									İ
F2:Mem Alloc	Dsp F3:	Act	F4	Deact	=5:R	eact	F	6:Ad	d F7	Rem	ove	Esc	Menu

2 スケジューリングモード、プロセッサ数が設定されます。

# Name Sta F 1 LPAR1 Dea 2 3 4 5 6 7 8 9 10	in (LPAF 'ro Shr 2 (R) Co Ded 2	nfiguratio Srv Me 100 102 [P	n n VN 4 O	ID Y	AA *	AC N	PC VC * N	PB BIOS	wn;]:Page [+
+												
+- Logical Informat	ion					-++-	- Ph	ysical	Info	ori	mation -	+
+Logical Informat +- Logical Informat F	ion 'ro Shr	Ded	Me	n VI	N	-++-	- Ph Use	ysical r Memo	l Infe ory	ori :	mation – 11008	+ MB
+ +- Logical Informat F Assign Total	ion ro Shr 2 (Ded	Me 102	n VI 1 (N 0	-++-	- Ph Use Pro	ysical r Memo cessor	l Info pry rs	orı : :	mation - 11008 16(16)	+ MB
+ +- Logical Informat F Assign Total Act Total	roShr 2 (0 (Ded 2 000	Me 102	n VI 1 (N D D	-++- 	- Ph Use Pro	ysical r Memo cessor Shareo	l Info pry 's d	ori : :	mation - 11008 16(16) 0	+ MB
+ +- Logical Informat F Assign Total Act Total Remain	ro Shr 2 (0 (Ded 2 000	Me 102 1100	n VI 1 () (3	N))	-++- 	- Ph Use Pro	ysical r Memo cessor Shareo Dedica	l Info ory 's d ate	orr : : :	mation - 11008 16(16) 0 0	+ MB
+	ro Shr 2 (0 (licated	Ded 2 0 0	Me 102 1100 cessors	n VI 1 () (3	N D D	-++- 	- Ph Use Pro	ysical r Memo cessor Shareo Dedica	l Info ory rs d ate	orr : : :	mation - 11008 16(16) 0 0	+ MB +

【HVMファームウェアパージョン 17-6X以降】

当該LPARのScd列にカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。
 スケジューリングモード(D: 占有モード)を選択して[Enter]を押します。

+Parical Part	ition(IP	AR) (onfig	uration									+ -+
# Name S	Sta Scd	Pro	Grp	Srv N	lem	VN	ID	AA	AC	PC	VC	PB	ц
1 LPAR1 [Dea S	1	0	100 10	24	0	Y	*	Ν	Ν	Ν	BIOS	ii
2													
3													
4													
5													
6 +	·										-+		
	Logical	Proc	essor	s Schedul I	ng	mode	e As	ssig	nme	ent	-		
				c							+		
				D D							+		
	 			U							ו +wr	n]:Page Down	
+	Dedicat	ed Sc	hedul	ing Mode							1		-+i
+- Logical Inf+											-+Iı	nformation -	-+İ
İI -	Pro	Shr	Ded	N	lem	VN		Use	r۱	lemo	ory	: 11008	Тİ
Assign Total	1	1	0	10	24	0	Ш	Pro	ces	soi	rs	: 16(16)	
Act Total	0	0	0		0	0			Sha	ared	b	: 0	
Remain				110	80				Dec	lica	ate	: 0	
+							++-						-+
Logical proce	essors sc	hedul	ing m	ode									I
F1:VCAssign F2:	MemAlloc	Dsp F	3:Act	F4:Deact	F5:	Read	st F	-6:A	dd	F7	Rer	nove Esc:Me	nu

2 スケジューリングモードが設定されます。

# Name Sta	Scd	Pro	Grp Srv	Mem	VN IE	A A A	AC PC	VC	PB	
1 LPAR1 Dea	ı D	1	0 100	1024	0 1	*	N *	Ν	BIOS	
2										
3										
4										
5										
0 7										
1										
8										
8 9										
8 9 10										
8 9 10				[PageUp]:	Page l	lp / [Pagel	Оожі	n]:Page Do	own
8 9 10				[PageUp] :	Page l	lp / [Pagel	Dowi	n]:Page Do	own
8 9 10 - Logical Inform	ation			[PageUp] :	Page l	lp / [[Pagel /sica	Down 	n]:Page Do nformatior	own
8 9 10 - Logical Inform	nation Pro	 Shr	Ded	[PageUp] : Mem	Page l	lp / [Phy User	Pagel vsica Memo	Down I In Dry	n]:Page Do nformatior : 11008	own n -
8 9 10 - Logical Inform Assign Total	nation Pro 1	Shr 0	Ded 1	[PageUp] : Mem 1024	Page L 	lp / [User Proc	[Pagel /sica / Memo cessol	Down I In Dry rs	n]:Page Do nformatior : 11008 : 16(16)	own n)
8 9 10 - Logical Inform Assign Total Act Total	nation Pro 1 0	Shr 0 0	Ded 1 0	[PageUp] : Mem 1024 0	Page U 	lp / [User Proc	Pagel vsica Memo cessol Shared	Down I In pry rs	n]:Page Do 	own n)
8 9 10 - Logical Inform Assign Total Act Total Remain	nation Pro 1 0	Shr 0 0	Ded 1 0	[PageUp] : Mem 1024 0 11008	Page L 	lp / [User Proc S	Pagel vsica Memo cesso Shareo Dedica	Down I In pry rs d ate	n]:Page Do 	own n
8 9 10 - Logical Inform Assign Total Act Total Remain	nation Pro 1 0	Shr 0 0	Ded 1 0	[PageUp] : Mem 1024 0 11008	Page L 	lp / [Phy User Proc S	[Pagel /sica / Memo cessol Charec Dedica	Down I In Dory rs d ate	n]:Page Do nformation : 11008 : 16(16) : 0 : 0	own n -)

3 当該LPARのPro列にカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。 プロセッサ数を入力して[Enter]を押します。

# Name Sta	Scd	Pro	Grp	Srv	Mem	VN	ID	AA AC	PC	VC	PB
1 LPAR1 Dea	D	1	0	100	1024	0	Y	* N	*	Ν	BIOS
2											
3											
4											
5											
6											
7											
8 +									+		
9		The n	umber	r of Lo	gical P	roce	sso	ors			
10											
I				2					ge[)owi	n]:Page Down
- Logical Informat	ion						++-	- Phvs	ica	I II	nformation -
0	Pro	Shr	Ded		Mem	VN	Ш	User	Memo	orv	: 11008
Assign Total	1	0	1		1024	0	ii	Proce	ssor	s	: 16(16)
Act Total	0	0	0		0	0	Íİ.	Sh	ared	ł	: 0
Remain					11008		Íİ	De	dica	ate	: 0
							++-				
The number of log	tical	proc	essor	ſS							

4 プロセッサ数が設定されます。

+- Logical Partit	ion (LP	AR) C	onfigura	tion								+
# Name Sta	Scd	Pro	Grn Srv	Mem	VN	ID	AA	AC PC	VC	PB		ii
II 1 LPAR1 Dea	D	2	0 100	1024	0	Ŷ	*	N *	N	BIO	S	ii
2	-				-	-					-	ii
3												ii
4												ii
5												- 11
6												
7												
8												
9												
10												
					-		,		-		_	
				[PageUp]:	Page	e Up	o /	[Page	Dow	n]:P	age [)own
 + +- Logical Inform	 ation			[PageUp] :	Page	e Ui 	- Ph	[Page ysica	Dowi I Ii	n]:P nfor	age C matic)own + on+
 + +- Logical Inform 	ation Pro	 Shr	Ded	[PageUp] : Mem	Page VN	• U -++- 	o / Phi Use	[Page ysica r Mem	Down I In ory	n]:P nfor :	age [matic 11008)own + on+ 3
 + +- Logical Inform Assign Total	ation Pro 2	Shr 0	Ded 2	[PageUp]: Mem 1024	Page VN 0	e Uj -++- 	- Phi Use Pro	[Page ysica r Mem cesso	Down In ory rs	n] : P nfor : :	age [matic 11008 16(16	Down + on+ 3 3)
 +Logical Inform Assign Total Act Total	ation Pro 2 0	Shr 0 0	Ded 2 0	[PageUp] : Mem 1024 0	Page VN 0 0	e U 	- Ph Use Pro	[Page ysica r Mem cesso Share	Down I In ory rs d	n]:P nfor : :	age [matic 11008 16(16 0	Down + on+ 3 5)
 +cogical Inform Assign Total Act Total Remain	ation Pro 2 0	Shr 0 0	Ded 2 0	[PageUp] : Mem 1024 0 11008	Page VN 0 0	e U 	- Ph Use Pro	[Page ysica r Mem cesso Share Dedic	Down In ory rs d ate	n]:P nfor : : :	age [matic 11008 16(16 0 0	Down + on+ 3 5)
 +Logical Inform Assign Total Act Total Remain +	ation Pro 2 0	Shr 0 0	Ded 2 0	[PageUp] : Mem 1024 0 11008	VN 0	e U -++- 	- Ph Use Pro	[Page ysica r Mem cesso Share Dedic	Down I In ory rs d ate	n] : P nfor : : : :	age [matic 11008 16(16 0 0 	Down + pn+ 3 3 5)
 +Logical Inform Assign Total Act Total Remain + The number of	ation Pro 2 0 ogical	Shr 0 0 proc	Ded 2 0	[PageUp] : Mem 1024 0 11008	Page VN 0 0	• U -++- 	- Ph Use Pro	[Page ysica r Mem cesso Share Dedic	Down I In ory rs d ate	n] : P nfor : : :	age [matic 11008 16(16 0 0	Down + on+ 3 3 5) +

2.3.3 メモリの設定

メモリサイズの設定は、Logical Partition Configurationスクリーンで行います。

当該LPARのMem列にカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。
 矢印キー([↑]、[↓]、[→]、[→])でメモリサイズを設定して[Enter]を押します。

# Name Sta 1 LPAR1 Dea 2	Scd S	Pro Grp Srv 1 2 0 100 1	Mem VN ID 024 O Y	AAACPCVCPB * NNNBIOS
2 3 4		The memory size	e (in MB)	
5 6		+1024 		
7 8		-256 0000 <mark>204</mark>	8 +256	
9 10		-1024		
		Maximum size : Effective max :	11008 11008	/ [PageDown]:Page Down
- Logical Inform	ation - Pro	Within bounds		-+Physical Information lser Memory : 11008
Assign Total	2	+	:	-+rocessors : 16(16)
Remain	0			-+ Dedicate : 0
The memory size	in Meg	a Byte	++	

2 メモリサイズが設定されます。

# Name Sta	a Scd	Pro	Grp Srv	Mem	VN	ID	AA	AC F	V O	CF	PB	
1 LPAR1 Dea	a S	2	0 100	2048	0	Y	*	Ν	Ν	NE	BIOS	
2												
3												
4												
5												
0												
1												
8												
8 9												
8 9 10												
8 9 10				[PageUp] :	Page	e Up	o /	[Pag	;eDo	wn]]:Page Do	own
8 9 10				[PageUp]:	Page	e Up	o /	[Pag	eDo	wn]]:Page Do	own
8 9 10 - Logical Inform	 mation			[PageUp] : 	Page	e Up 	o / 	[Pag nysic	;eDo 	wn]]:Page Do formation	own
8 9 10 - Logical Inform	mation Pro	 Shr	Ded	[PageUp] : Mem	Page VN	e Up 	o / - Pł 	[Pag nysic er Me	eDo al	wn] Int]:Page Do formation : 11008	own
8 9 10 - Logical Inforn Assign Total	mation Pro 2	Shr 2	Ded 0	[PageUp] : Mem 2048	Page VN 0	e Up -++- 	o / - Pł Use Pro	[Pag nysic er Me ocess	geDo al emor	wn] Inf y]:Page Do formation : 11008 : 16(16)	own n
8 9 10 - Logical Inform Assign Total Act Total	mation Pro 2 0	Shr 2 0	Ded 0 0	[PageUp] : Mem 2048 0	Page VN 0 0	e Ur 	- Ph Use Pro	[Pag nysic er Me ocess Shar	geDo al emor ors	wn] Inf y]:Page Do formatior : 11008 : 16(16) : 0	own n
8 9 10 - Logical Inform Assign Total Act Total Remain	mation Pro 2 0	Shr 2 0	Ded 0 0	[PageUp] : Mem 2048 0 11008	Page VN 0 0	e Up 	o / - Ph Use Pro	[Pag nysic er Me ocess Shar Dedi	eDo al mor ors ed cat	wn] Inf y e]:Page Do formation : 11008 : 16(16) : 0 : 0	own)
8 9 10 - Logical Inform Assign Total Act Total Remain	mation Pro 2 0	Shr 2 0	Ded 0 0	[PageUp] : Mem 2048 0 11008	Page VN 0	e Up 	o / - Pł Use Pro	[Pag nysic er Me ocess Shar Dedi	eDo al emor ors ed cat	wn] Inf y e]:Page Do formation : 11008 : 16(16) : 0 : 0	own n)

2.3.4 PCIデバイスの設定

スケジューリングモード、PCIデバイスの設定は、PCI Device Assignmentスクリーンで行います。

- スケジューリングモードが共有モードのPCIデバイスは「-」で表示され、本スクリーンでの設定はできません。共有NICの設定方法については「共有NICの設定」、共有FCの設定方法については「共有FCの設定」を参照してください。
- スケジューリングモードが変更できるPCIデバイスはSchdの右側に「+」が表示されます。「+」が表示されていないPCIデバイスは、スケジューリングモードの変更はできません。
- LPARを停止することなく、LPARに占有的に割り当てたオンボードのUSBポートをほかのLPARへ割り当て変 更することができます。この切り替えは、プライマリサーバブレードのUSBポートに限り可能です。

スケジューリングモードを共有モードにする場合

 当該PCIデバイスのSchdlにカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。 スケジューリングモード(S:共有モード)を選択して[Enter]を押します。

+- PCI Device	Assig	nment	:												
PCI	Devic	e#∶	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
	I Y	pe.	U	U	N	N	F	N							
	SC	hd:	E	E	8	5+	5+	D+							
# Name	Sta														
I I LPAR1	Dea		A	Α	-	-	-	*							
2	+										+				
3		PCI	Devi	ce S	cheo	dulin	g mo	de A	ssig	nmer	nt				
4	ļ					_					ļ				
5						D									
6						S									
7	+										+				
8		PCI	Devi	ce i	s Sł	nared	Mod	e							
9	+										+				
10															
						[Pag	eUp]	:Pag	e Up	/	Page	eDow	n]:	Page	Down
+-Selected PC	I Devi	ce Ir	nform	natio	n										
# Vendor		De	evice	e Nam	e					S	ot#	Bu	s#	Dev#	Func#
5 Intel Com	rp.	Gb	DE Co	ontro	lle	r				8	3		9	0	0
F5:Attach/De	etach	F10:	Upda	ite P	CII	Dev S	chd	F11	:Lef	't F	-12:F	Righ	t	E	sc∶Menu

2 設定した内容を反映させるため、[F10] (Update PCI Dev Schd)を押すと、サブスクリーンが表示されます。 Yesを選択して[Enter]を押します。

+- 1	PCI	Device	Assignm	ent													-+
		PCI	Device# Type	: 0 : U	1 U	2 N	3 N	4 F	5 N	6	7	8	9	10	11		
	# N	ame	Sta	. с	C	3	3+	3+	3+								
	1 L 2	PAR1	Dea	Α	A	-	-	-	-				-+				
ii	3		i			Save	e set	ting	s?				İ				i
	4 5		Thi	s opera	ation	wi	ll re	quir	'e a	few	minu	ites.					
	6		Ì				Ye	s					ï				
ÌÌ.	7		Ì				No						Ì				ļ
	8 9		+ Sav	e all o	chang	es							+				
ij.	10		+										-+				Ì
 +							[Pag	eUp」	:Pag	e U	o /	Page	Dowi	nj∶P	age	Down	 -+
+-;	Sele	cted PC	I Device	Infor	natio	n											-+
	# V 5 1	endor	* 10	Devic	e Nam	e Llou					S	ot#	Bu	s# D)ev#	Func#	
++			rp.	UDE 0			r) 		9 	0		 +-
	F5:A	ttach/D	etach F	10:Upd	ate P	CII	Dev S	chd	F11	:Le	ft F	-12:R	ligh	t	E	sc:Menu	ı

3 Config Changingのメッセージが表示されます。

+- 1	PCI De	evice	Assignment														-+ +-
		PCI	Device#: Type: Schd:	0 U E	1 U E	2 N S	3 N S+	4 F S+	5 N S+	6	7	8	9	10	11		
	# Name 1 LPAF 2 3	e {1	Sta Dea	A	A	-	-	-	-								
	4 5 6 7				+ C +	onfi	g Ch	angi	+ ng +								
	8 9 10						[Pag	eUp]	:Pag	e Up	/[Pagel	Dowr	n] : P	age	Down	
+; +-; ; ;	Selecte # Venc 5 Inte	ed PC dor el Co	I Device In De rp. Gb	form vice E Co	atio Nam ntro	n e ler					SI 8	ot#	Bus	s# D 9	ev# 0	Func# 0	+- +-
++	F5:Atta	ach/D	etach F10:	Upda	te P	CID	ev S	chd	F11	:Lef	t F	12:R	ight		Es	sc:Menu	++- L

4 約2~3分後にNormal Endのメッセージが表示されます。

+- 	PCI Device	Assignmer	nt												
	PCI	Device#: Type:	0 U	1 U	2 N	3 N	4 F	5 N	6	7	8	9	10	11	
	# Name	Schd. Sta	E	E	3	5+	5+	5+							
i i 	1 LPAR1 2	Dea	A	A	-	-	-	-							
	3														
	4 5				+			-+							
	6				No	ormal	End								
	8				+			-+							
	9														
1 +	0					[Pag	eUp]	:Pag	je Up	o / [Page	Down]:Pa	ge	Down
+-S	elected PC	I Device I	nform	natio	on										
# 5	Vendor Intel Co	rp. G)evice 3bE Co	e Nan ontro	ne bllen	r				۱۵ 8	ot#	Bus	# De 9	v# 0	Func# 0
++ F	5:Attach/De	etach F10):Upda	ate F	PCII	Dev S	chd	F11	:Lef	ft F	12:R	light		E۶	sc:Menu

スケジューリングモードを占有モードにする場合

 当該PCIデバイスのSchdlにカーソルを合わせて[Enter]を押すと、サブスクリーンが表示されます。 スケジューリングモード(D: 占有モード)を選択して[Enter]を押します。

10	I Devi	ce#:	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
	Ty	ype∶	U	U	Ν	Ν	F	Ν							
	Se	chd∶	Е	Е	S	S+	S+	S+							
# Name	Sta														
1 LPAR1	Dea		Α	Α	-	-	-	-							
2	-	+									+				
3		PCI	Devi	ce S	Schec	lulin	ig mo	de A	lssig	nmen	t				
4															
5						D									
6						S									
/	-		D		:- D-		+ - N				+				
8		PGI	Devi	ce	IS DE	aica	ile w	ode			1				
9	-										+				
10						[Doo	alln]	·Dog	a Un	/ г	Dogo	Dow	<u>-1</u>	Dogo	Down
						[1 ag	eoh]	-1 ag	.e op	/ L				1 age	
	CI Dev	ice Ir	for	natio	on										
-Selected P		De	vice	Nar	ne					SI	ot#	Bu	s#	Dev#	Func#
-Selected P # Vendor										•••				• 0	

 設定した内容を反映させるため、[F10] (Update PCI Dev Schd)を押すと、サブスクリーンが表示されます。 Yesを選択して[Enter]を押します。

1	PCI [)evice#:	0	1	2	3	4	5	6	7 8	ç	9 10	D 11	
		Type:	U	U	Ν	Ν	F	Ν						
		Schd:	E	E	S	S+	S+	D+						
# Nam	e 8	Sta												
1 LPA	R1 [)ea	Α	Α	-	-	-	*						
2		+										ŀ		
3					Save	e set	ting	s?						
4		This	opera	ation	wi	ll re	quir	e a	few r	ninute	s.			
5														
6						Ye	s							
7						No)							
8		+										F		
9		Save	all c	hang	es									
10		+										F		
1						[Pag	;eUp]	:Pag	ge Up	/ [Pa	geDo	own]	Page	Down
l 			nform	natio	n									
∣ ⊢	ed PCI	Device I								<u> </u>	и г	0	Dov#	Euro#
 ⊢	ed PCI dor	Device I D	evice	e Nam	е					Slot	4 L	bus#	Dev#	Func#

3 Config Changingのメッセージが表示されます。

+																+
+- 	PCI Device	Assignme	nt													-+
	PCI	Device#:	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11		ļ
		Type: Schd	UF	UF	N S	N ST	F ¢⊥	N D								+
	# Name	Sta	L	L	3	0,	51	0								i
İİ	1 LPAR1	Dea	Α	Α	-	-	-	*								İ
	2															
	4															i
İİ	5			+				+								į
	6 7			(Conf	ig Ch	angi	ng								+
	8			·												i
	9															ļ
[.] 	10					[Dog	ollo]	·Dag	o IIr	. / 1	Dago	Dow	.1 · c	0000	Down	
 +														agu		-+
+-8	Selected PC	I Device	Inform	natio	on											-+
‡	‡ Vendor 5 Intel Cou	rn (Device GhE Co	Nar	ne N I I AI					S	ot#	Bus	s# [0	#ev) م	Func#	
++		гр. 									, 		J			 ++-
F	5:Attach/De	etach F1	0:Upda	ite A	PCII	Dev S	chd	F11	:Lef	t F	-12:R	i ght	5	E	sc∶Menı	u

4 約2~3分後にNormal Endのメッセージが表示されます。

+- PCI	Device	Assignmen	t												
	PCI	Device#:	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
		Type:	U	U	N	N	F O	N							
 # N		Scha.	E	E	3	5+	2+	D+							
#N 1		SLA Dea	٨	٨	_	_	_	*							
1 L 2		Dea	~	~				т							
3															
4															
5					+			-+							
6					N	lormal	Enc								
7					+			-+							
8															
9 10															
						[Pag	el In]	:Pag	re IIn	/	Page	Dow	n]:	Page	Down
, +															
+-Sele	cted PC	I Device I	nforr	nati	on										
# V	endor	D	evice	e Na	me					S	lot#	Bu	s# I	Dev#	Func#
5 I	ntel Co	rp. G	bE Co	ontr	olle	er				8	3		9	0	0
+	ttach/De	etach F10	: Upda	ate	PCI	Dev S	chd	F11	:Lef	t F	-12:F	Righ		E	sc:Menu

PCIデバイスを割り当てる場合

1 当該LPARのPCI Device番号列(例では、NIC)にカーソルを合わせて[Enter]を押します。

+- PCI Device Assignment	
PCI Device#: 0 1 Type: U U Schd: E E # Name Sta 1 LPAR1 Dea A A 2 3 4 USB 5 リモートコンソ 6 9 10	2 3 4 5 6 7 8 9 10 11 N N F S S+ * NIC FC NIC
 +	[rageup].rage up / [rageuown].rage uown
+-Selected PCI Device Informatio	n+
# Vendor Device Nam	e Slot# Bus# Dev# Func#
5 Intel Corp. GbE Contro	er 8 9 0 0
F5:Attach/Detach F10:Update P	CI Dev Schd F11:Left F12:Right Esc:Menu

2 PCIデバイス割り当て(A:割り当て)を選択して[Enter]を押します。

+- 1	PCI Device	Assignment	t										+
	PCI	Device#: Type: Schd:	0 U E	1 2 U 1 E 3	2 3 N N S S-	4 F + S+	5 N D+	6	7	B !	9 1	0 11	
	# Name 1 LPAR1 2	Sta Dea	A	A -		-	*		+				
ii II	3		PCI	Devi	ce Nur	nber/	Assig	nmen	t 				İ
	5 6 7	-	 			A *			 ++				
	8 9		PCI	Devi	ce As	sign			 +				ĺ
 +					[Pa	ageUp	:Pag	e Up	/ [Pa	ageD	own]	:Page	Down
+-8 # 8	Selected PC # Vendor 5 Intel Co	I Device Ir De rp. Gb	nform evice oE Co	ation [.] Name ntrol	ler				Slo ⁻ 8	t# 1	Bus# 9	Dev# 0	Func# 0
++	5:Attach/De	etach F10	Upda	te PC	l Dev	Schd	F11	:Lef	t F12	2:Ri	ght	E	sc:Menu

3 PCIデバイスが割り当てられます。

+- PCI De 	vice A	ssignmen	t									+
	PCI D	evice#:	0	1	2 3	4	5	6	78	9	0 11	i
		Type:	U	U	N N	I F	N					
II # Name	S-	ta	E	C	3 3	+ 3+	D+					
1 LPAR	1 De	ea	Α	Α		-	Α					į
2												
4												ļ
5												
6 7												
8												İ
9												
					ΓP	agelln]:Pag	e Iln	/ [Pag	eDown	:Page	Down
+												+
+-Selecte	d PCI I	Device I	nform	atior	1							+
# Vend 5 Inte	lor I Corp.	. G	evice bE Co	Name ntrol	e ler				SIOT# 8	Bus	#Dev#) 0	Func# 0
F5:Atta	ch/Deta	ach F10	:Upda	te PC	CI Dev	Schd	F11	:Lef	t F12:	Right	E	sc∶Menu

▲ 注意

1つのPCIデバイスを複数のLPARに対して割り当てる指定ができますが、実際にPCIデバイスが使用できるのは、最初にActivateしたLPARのみです。使用中のPCIデバイスを別のLPARで使用するためには、当該PCIデバイスを使用しているLPARをDeactivateしてから、使用したいLPARをActivateしてください。 ただし、USBおよびリモートコンソールに関しては、USBの自動Attach設定を無効にすることにより、最初にActivateしたLPARではなく、指定したLPARに対してPCIデバイスを割り当てることができます。

PCIデバイスの使用先を変更する場合

1 当該PCI Device番号列(例では、リモートコンソール)にカーソルを合わせて[F5] (Attach/Detach)を押します。

2 サブスクリーンで番号を選択して[Enter]を押します。

- LPAR番号を選択した場合は、選択したLPAR番号のLPARへ使用先を変更します。
- •「Detach only」を選択した場合は、PCIデバイスの切り離しのみを行います。

+														
+- 1	PCI Device	Assignment												
ii	PCI	Device#:	0	1	2	3	4	5	6	7	8	91	0 11	
		Type:	U	U	Ν	Ν	F	Ν						
		Schd:	Е	Е	S	S+	S+	S+						
	# Name	Sta												
Ϊİ.	1 LPAR1	Act	R	R	-	-	-	-						
ii -	2 LPAR2	Act	Α	Α	_	_	_	_						
ii -	3		+							÷				
ii -	4		I	Devi	се	Attac	h /	Deta	ch	I				
ii -	5		i		Now	Γ 1		211		i				
ii -	6		i							1				
ii -	7		ł	0 0	ota	ch on	lv			 				
	2 2		ł	21		2	I y			 				
	0			2 L		2								
Η.	9		+							F				
	10					[D					[D	ъ		D
11						LPag	eup	·Pag	e Up) /	Lrage	Down]	. Page	Down
1+														
+-;	Selected PC	I Device In	tor	matio	n									
11 :	# Vendor	De	vic	e Nam	е					S	lot#	Bus#	Dev#	Func#
11	0 Intel Co	rp. USI	BC	Contro	lle	r				U	K8	0	1a	0
++														
	+5:Attach/D	etach F10:I	Upd	late P	CI	Dev S	chd	F11	:Le	ft	F12:R	Ight	E	sc∶Menu

3 サブスクリーンでYesを選択して[Enter]を押します。

- PCI	Device	Assign	ment												
	PCI	Device	#: 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	
		Тур	e: U	U	Ν	Ν	F	Ν							
		Sch	d: E	Е	S	S+	S+	S+							
# N	ame	Sta													
1 L	PAR1	Act	R	R	-	-	-	-							
2 +															+
3			Targe	t dev	/ice	is a	ttac	hed	to L	PAR1					
4	Are you	u sure (detachi	ng it	fro	om LP	AR1	and	atta	chir	g it	: to	LP	AR2	?
5															
6						Ye	s								
/						N	lo								I
8 +	D. t l.														+
9	Detach	then A	ttacn												
10 +						[Pag	;eUp]	:Pag	ge Up) / [Page	Dow	n]:	Page	Down
++															
# Vendor Device Name Slot# Bus# Dev# Func#															
0 I	ntel Con	rp.	USB C	ontro	oller					UK	8		0	1a	0
 F5:A	ttach/De	etach I	 F10:Upd	ate F)ev S	chd	F11	:Lef	t F	12:6	ligh	 t	 E	sc:Men

4 PCIデバイスの使用先が変更されます。

+- + 	- P	CI Device	Assignmen	ıt										+
ii		PCI	Device#:	0	1	2	3	4	5	6	78	9 1	0 11	i
İİ			Type:	U	U	Ν	Ν	F	Ν					i
İİ			Schd:	Е	Е	S	S+	S+	S+					Í
	#	Name	Sta											
	1	LPAR1	Act	Α	R	-	-	-	-					- I
	2	LPAR2	Act	R	Α	-	-	-	-					
	3													
	4													
	5													
ij	6													
ļļ	7													
!!	8													
!!	9													
!!	10						[]				/ [D	n		D
							LPag	eupj	·Pag	e up	/ LPage	Down]	Page	Down I
1+		leated DC	I Daviaa I											+
1+	–აe #	Vendor	I DEVICE I	norn	Nom	n—— 0					Slot#	Bue#	Dov#	+ Func#
	# 0	Intel Co	rn II		ntro	c IIa	r					Du 5#	19	1 uno# 0
11 ++			. U				· 					0		• • •
I	F5	:Attach/D	etach F10	Upda	te P	CI	Dev S	chd	F11	:Left	F12:R	ight	E	sc∶Menu

▲ 注意

- PCIデバイスの使用先の変更後、使用できるようになるまで30秒程度かかることがあります。
- LPARにPCIデバイスをAttachしているとLPARの性能が若干低下します。性能を要求されるアプリケーション を実行する際には、不要なPCIデバイスをDetachして切り離してください。

2.3.5 共有NICの設定

共有NICの設定は、Virtual NIC Assignmentスクリーンで行います。

- スケジューリングモードが占有モードのPCIデバイスは、本スクリーンでの設定はできません。
- HVMファームウェアバージョン 17-85以前は、Device列は表示されません。
- 1 当該LPARのDevice列にカーソルを合わせて[Enter]を押します。

+	Virtual	NIC Ass	ignmen	nt											+
¦¦					Vir	tual	NIC	Numł	ber						
ii -	# Name	Sta	#VNIC	Device	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	i
İİ -	1 LPAR1	Dea	0	NIC1	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	i
	2 LPAR2	Dea	0	NIC1	*	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
	3														
Ш	4														
!!	5														
!!	6														ļ
!!	7														
	8														
	9														
	10					Г	Pagel	In] · F	οασρ	lln .	/ [P:	ageDo	-wn]	Page	Down I
+															+
+-۱	/NIC Info	ormation)												+
İП	lo: M/	AC Addre	ess:				Sł	nared	d NI(C#:	Та	ag∶		Prn	n:
	Ir	nter-LP/	R Pacl	ket Fil	terii	ng∶									
11 \	/LANID:														
	2:Disp	F5:Set	Prom.	Mode	F6:Cl	nang	e MA(C Ado	dr I	F7:Se	elect	t VL/	AN	F	
	-8:Packet	t Filter	F11	Left	F12:1	(Igh	t							Esc	∶Menu

2 VNIC Device Type(例では、NIC1)を選択して[Enter]を押します。



▲ 注意 ■ iSCSI ブートの場合は、NIC2 を必ず選択してください。

3 当該LPARのVirtual NIC Number列にカーソルを合わせて[Enter]を押します。

-----+

+-	· Virtual	NIC Assi	gnment -												+ +
				Vii	rtual	NIC	Num	or							
	# Nomo	(# a+2	NIC Dov	100 0	1	2	2	100	Б	6	7	o	0		
		0Ld #1		100 0	1	2	3	4	0	0	1	0	9		
		Dea	UNIC	I *	*	*	*	*	*	*	*	*	*		!!
	2 LPAR2	Dea	0 NIC	1 *	*	*	*	*	*	*	*	*	*		!!
	3														
	4														
	5														
	6														
	7														11
	8														11
Ϊİ.	9														İİ
ii.	10														ii
ii.					Г	Pagel	In] · I	οασρ	lln	/ [P:	aveD	own]·	Page	Down	ii
					L		10101	agu	οp ,		agob		Tago		. I . I
1	VNIC Info	rmation-													- I - I
			·	07 60	<u>م</u> 7 م	0 0			о <i>щ</i> . и	ς т.	· I	Indaf	- Dum	. т	ìì
	NO. U IVIA	L Address	5. 00.00	. 07. 02.	07.0	0 3	are		0#· (5 13	ag. I	June	Priii	• •	
	In	ter-LPAR	Packet	Filter	ing:	Disa	ble								!!
	VLANID:														
++-															++
	F2:Disp	F5:Set Pr	rom. Mod	e F6:(Chang	e MA	C Ade	dr I	F7:S0	elec	t VL	AN			
	F8:Packet	Filter	F11:Lef	t F12	∶Righ	t							Esc	∶Menu	

4 共有NIC(例では、1a)を選択して[Enter]を押します。

	C Assi	gnment									
			Virtual	NIC	Numbe	er					
# Name	Sta #	VNIC Device	0 1	2	3	4	5	6	7	8	9
1 LPAR1	Dea	+						+	*	*	*
2 LPAR2	Dea	Physical	NIC / Po	ort I	Number	se	ttir	ng	*	*	*
3											
4				*							
5				Va							
0				VD							
8				Vd				ł			
9		1		1a				i			
10		i		1b				i			
		i		2a				i	ageDo	own]:	Page Down
		-		2b							
/NIC Inform	nation-	-+						+			
No: 0 MAC	Addres	s							ag∶l	Jndef	Prm: T
Inte	er-LPAR	+						+			
/LANID:											
 F2:Disp F5	:Set P	rom. Mode	F6:Change	e MAC	C Addr	F	7:Se	elec	t VL/	AN	
-8:Packet F	ilter	F11:Left	F12:Right								Esc∶Menu
	<pre># Name 1 LPAR1 2 LPAR2 3 4 5 6 7 8 9 10 //NIC Inform No: 0 MAC Inte //LANID:</pre>	<pre># Name Sta # 1 LPAR1 Dea 2 LPAR2 Dea 3 4 5 6 7 8 9 10 //NIC Information No: 0 MAC Addres: Inter-LPAR /LANID:</pre>	<pre># Name Sta #VNIC Device 1 LPAR1 Dea +</pre>	Virtual # Name Sta #VNIC Device 0 1 1 LPAR1 Dea +	Virtual NIC # Name Sta #VNIC Device 0 1 2 1 LPAR1 Dea	Virtual NIC Number # Name Sta #VNIC Device 0 1 2 3 1 LPAR1 Dea +	Virtual NIC Number # Name Sta #VNIC Device 0 1 2 3 4 1 LPAR1 Dea	Virtual NIC Number # Name Sta #VNIC Device 0 1 2 3 4 5 1 LPAR1 Dea	Virtual NIC Number # Name Sta #VNIC Device 0 1 2 3 4 5 6 1 LPAR1 Dea	Virtual NIC Number # Name Sta #VNIC Device 0 1 2 3 4 5 7 1 LPAR1 Dea	Virtual NIC Number # Name Sta #VNIC Device 0 1 2 3 4 5 7 8 1 LPAR1 Dea

■ iSCSI ブートの場合は、2a および 2b を必ず選択してください。

▲ 注意

5 共有NICが設定されます。

```
+- Virtual NIC Assignment -
ÌI
                                                                          11
                              Virtual NIC Number
11
П
   # Name
              Sta #VNIC Device 0 1
                                      2
                                         3
                                              4
                                                  5
                                                      6
                                                         7
                                                             8
                                                                 9
||
   1 LPAR1
             Dea
                    2 NIC1 1a
                                      *
                                          *
                                   *
                                              *
                                                  *
   2 LPAR2
             Dea
                     O NIC1
                                  *
                                      *
                                          *
Ш
                               *
П
   3
||
   4
||
   5
                                                                          П
Ш
   6
   7
11
   8
   9
  10
                                    [PageUp]:Page Up / [PageDown]:Page Down ||
11
1+
+-VNIC Information-
|| No: 0 MAC Address: 00.00.87.62.c7.00 Shared NIC#: 1 Tag: Undef Prm: T
                                                                          Inter-LPAR Packet Filtering: Disable
11
|| VLANID:
                                                                          11
  F2:Disp F5:Set Prom. Mode F6:Change MAC Addr F7:Select VLAN
Т
  F8:Packet Filter F11:Left F12:Right
                                                                  Esc:Menu
L
```

••• 補足

 HVM 動作モードが HVM 標準モードの場合、物理 LAN コントローラ単位で割り当てを行うため、1a を 選択すると 1b も選択されます。

2.3.6 共有FCの設定

共有FCの設定はShared FC Assignmentスクリーンで行います。

- スケジューリングモードが占有モードのPCIデバイスは、本スクリーンでの設定はできません。
- iSCSIブートの場合は、共有FCの設定は不要です。
- 1 当該LPARのShared FC番号列にカーソルを合わせて[Enter]を押します。

+	Sharad I		oment -										
ii -		Shared	FC#:	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9 I
ii		S	lot#:	E80	E80	_	-		-	-		-	i
İİ -		P	ort#:	0	1								Í
		PortSta	atus∶	Α	Α								
	# Name	Sta		_									
	1 LPAR1	Dea		*	*								
!!	2 LPAR2	Dea		*	*								ļ
!!	3												ļ
!!	4												ļ
	5												
	7												
	8												ł
ii -	9												ł
ii :	10												i
ii I+						[Pag	eUp]:	Page l	Jp /	[Pag	eDown]	Page	Down
1+-9	Selected	Virtual	FC Por	+ ww	N Inf	ormati	on						+
11	# LPAR#	WWPN	10101	W	WNN	ormaer	on	Bus	s#	Dev#	Func#	vfc	ID# I
ii () 1	0		0	-			5		4	0		Ï
	-11:Left	F12:Ri	ght									Es	c∶Menu

2 vfcIDを選択して[Enter]を押します。

⊦ ⊥	Sharad EC Agaignmont				
11	Shared FC Assignment	Shared EC vfoWWNId Accimponent	1 6	7	0 0
	Shared Fu#		1 0	/	0 9
	SIUL# D==+#		-		
!!	Port#	*	!		
	PortStatus	1	!		
	# Name Sta	2			
	1 LPAR1 Dea	3			
	2 LPAR2 Dea	4			
	3	5			
11	4	6	1		
ÌÌ.	5	7	Í		
ii -	6	8	i		
ii -	7	9	i		i
ii -	8	10	i		i
ii -	0 I	11	i i		
	10 I	10	ł		
		12		o Down 7	Dago Down
		13	[Pag	genowu] .	rage Down
+		14			
+-;	Selected Virtual FC	15			
1	# LPAR# WWPN +		+ev#	Func#	vfcID#
(0 1 0			0	
++ 	 F11:Left F12:Right		+		Esc:Menu

••• 補足

- HVM ファームウェアバージョン、搭載する FC アダプタにより表示内容が異なります。
- vfcID は1ポートあたり1~15の範囲内で選択できますが、複数の LPAR に同一の vfcID を設定する ことはできません。また、1つの LPAR に複数の vfcID を設定することはできません。

3 vfcIDが設定されます。

+- Shared F	C Assignment									
	Shared FC#:	0	1	2	3	4	5 6	7	89	
	Slot#:	E80	E80							
	Port#:	0	1							
	PortStatus∶	Α	Α							
# Name	Sta	_								
1 LPAR1	Dea	1	*							
2 LPAR2	Dea	*	*							
3										
4										
5										
6										
7										
8										
9										
10							(50	D 1.		
 +				LPag	eUp]:	Page Up) / [Pa	geDown]:	Page Down	
+-Selected	Virtual FC Pc	ort WW	N Info	ormati	on					
# LPAR#	WWPN	W	WNN			Bus	‡ Dev#	Func#	vfcID#	
0 1	2348000087000	0110 2	348000	008700	0111	5	4	0	1	
F11:Left	F12:Right								Esc:Mei	nu

2.4 構成情報の保存

構成情報の保存は、HVM Menuスクリーンで行います。

- 構成情報を保存すると次回のHVM起動時に、保存した構成情報でHVMが起動します。
- 保存する前にHVMをシャットダウンもしくは再起動した場合には、設定した値は消失します。
- 1 HVM Menuスクリーンで[F9] (Save Configuration)を押します。

+ Menu [HVM_192168020]		yyyy/mm/dd hh:mm:ss -+
 Logical Partition Confi Logical Processor Confi Physical Processor Confi PCI Device Information PCI Device Assignment VNIC Assignment Shared FC Assignment Allocated FC Informatic	guration guration iguration	System Configuration System Service State Date and Time HVM Options LPAR Usage Front Panel HVM System Logs Firmware Version Information
+ 8	Saving HVM c	onfiguration +
+ + Tips		+
F3 : Activate	F8 : LPAF	Screen
F4 : Deactivate	F9 : Save	Configuration
F5 : Reactivate		
F6 : Add Definition	Alt+t:	Screen Refresh
F7 : Remove	Alt+r∶	HVM System Shutdown
Configure Shared FC Port		
:Move Cursor Enter:	Select	HVM Ver. : VV-RR(TT-KK)

2 約2~3分後に、HVM configuration is saved successfullyのメッセージが表示されます。

+ Menu [HVM_192168020]		yyyy/mm/dd hh:mm:ss -+ I
II Logical Partition Confi Logical Processor Confi Physical Processor Confi PCI Device Information PCI Device Assignment VNIC Assignment Shared FC Assignment Allocated FC Information +	iguration iguration Figuration on figuration	System Configuration System Service State Date and Time HVM Options LPAR Usage Front Panel HVM System Logs Firmware Version Information is saved successfully +
+		+
F3 : Activate F4 : Deactivate F5 : Reactivate	F8 : LPAR F9 : Save	R Screen e Configuration
F6 : Add Definition F7 : Remove	Alt+t: Alt+r:	Screen Refresh HVM System Shutdown
+ Configure Shared FC Port		+
:Move Cursor Enter:	Select	HVM Ver. : VV-RR(TT-KK)

2.5 LPARの起動

2.5.1 LPAR OActivate

- ▲ 注意 ゲストOSをインストールする場合は、サーバブレードにCD/DVDドライブを接続し、OSインストールメディアを 挿入しておいてください。
- 1 Logical Partition Configurationスクリーンで[F3] (Activate)を押すと、サブスクリーンが表示されます。 LPAR番号を選択して[Enter]を押します。

		.													
+-	Logical	Partiti	on (LP	AR) C	onfig	guration	1								+
11	# Name	Sta	Scd	Pro	Grp	Srv	Mem	VN	ID	AA	AC	PC	VC	PB	
11	1 LPAR1	Dea	S	2	0	100	2048	2	Y	*	Ν	Ν	Ν	BIOS	
	2 LPAR2	Dea	D	2	0	100	2048	0	Y	*	Ν	*	Ν	BIOS	
11	3														
ii -	4														ii
ii -	5														ii
ii -	6														ii
ii -	7				+			+							ii
ii -	, Q				i,	lot i vote		i							
	0					GLIVALE		1							
!! .	9							!							. !!
1	0					1 LPAR1									- 11
11						2 LPAR2	2	age	e Up) /	[Pa	age[Dowr	n]:Page Do	wn
+					+			+							+
+-	Logical	Informa	tion						++-	- Pł	iysi	ca	IIr	nformation	+
ÌI -			Pro	Shr	Ded		Mem	VN	Ш	Use	er M	lemo	orv	: 11008	- Iİ
ii A	Assign To	otal	4	2	2		4096	2	ii	Pro	oces	sor	s	: 16(16)	ii
ii A	Act Tota		0	0	0		0	0	ii		Sha	ared	4	: 0	ii
ii F	Remain		•	Ť	•		11008	Ť	ii.		Dec	lics	ate	· 0	ii
11 I											500			· •	۱۱ اـــــــــــــــــــــــــــــــــــ
	ogicalı	partitic	n nam	e											+

|F1:VCAssign F2:MemAllocDsp F3:Act F4:Deact F5:React F6:Add F7:Remove Esc:Menu|

2 サブスクリーンでContinueを選択して[Enter]を押します。



▲注意

- HVM Optionsスクリーンの「Activation」の設定により、サブスクリーンが表示されない場合があります。
- LPARのActivate後、ゲストスクリーンが正しく表示されず画面が止まってしまった場合は、HVM System Logs スクリーンを表示させ、HVMシステムログの中に「HVM-LFW detected internal error.」が存在するか確認して ください。存在する場合は、お買い求め先か、保守員に連絡してください。

2.5.2 リモートコンソールへの接続

LPARをActivateするとリモートコンソールが使用中となり、リモートコンソールに接続することにより、ゲストスクリーンが表示されます。

▲ 注意

 すでに他のLPARがリモートコンソールを使用中の場合、最初にActivateしたLPARがリモートコンソールの接 続先となり、後からActivateしたLPARはリモートコンソールに接続されません。
 後からActivateしたLPARに接続先を切り替えるには、リモートコンソールの使用先を変更する必要がありま す。詳細については、「PCIデバイスの設定」の「PCIデバイスの使用先を変更する場合」を参照してください。

2.6 ブートオーダの設定

▲ 注意

- iSCSIブートの場合は、同一MACアドレスのiSCSIブートデバイスを設定しないでください。
- iSCSIブートの場合は、iSCSIブートデバイスの設定は2つを上限とし、3つ以上は設定しないでください。 ただし、OSセットアップ時は、iSCSIブートデバイスの設定は1つのみとし、シングルパス構成でインストールしてください。
- Ⅰ インストール後にマルチパス構成にする場合は、それぞれのブートオーダを設定してください。

2.6.1 ブートの設定

EFIドライバの設定(SANブートの場合)

SANブートを行う場合のEFIドライバの設定例を以下に示します。すでにEFIドライバの設定を行っている場合、本 設定は不要です。

1 Boot Maintenance Managerを選択します。



2 Boot Optionsを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager		¥ /
Boot Options		Modify system boot options	
Set Time Out Value			
Reset System			
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save	¥ ;

3 Change Boot Orderを選択します。

 ¥	Boot Maintenance Manager		
ào Back To Main Page Add Boot Option Delete Boot Option Change Boot Order		Will be valid or boot	n next

- 4 <EFI Internal Shell>のブートオプションが先頭に表示されている場合、Change Boot Orderは不要です。
 Discard Changes and Exitを選択した後、手順8から実施してください。
- 5 それ以外の場合は、Change the orderを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager	
Change the order	<boot0001> <efi internal="" shell=""></efi></boot0001>	Change the order
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit		
/		
 ^v=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save

6 「+」または「-」キーを押し、EFI Internal Shellのブートオプションを先頭に移動します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager	¥ /
Change the order	<boot0001> <efi internal="" shell=""></efi></boot0001>	Change the order
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit	/¥ EFI Internal Shell Boot0001 ¥/	4 /
/ + =Move Selection Up ¥	<enter>=Complete Entry</enter>	- =Move Selection Down Esc=Exit without Save /

7 Commit Changes and Exitを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager	¥ //
Change the order	<efi internal="" shell=""> <boot0001></boot0001></efi>	
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit		
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	¥ Esc=Exit without Save /

8 [Esc]を押します。

/ ¥	Boot Maintenance Manage	er
Boot Options		Modify system boot
Set Time Out Value		00110113
Reset System		
/		,
/ ^v=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save

9 Continueを選択し、EFI Shellを起動します。

BladeSymphony E51 HVM			
Intel (R) Xeon (R) CPU	E5540	@ 2.53GHz	2.53 GHz
(IA32.UEFI) Ver: 1.20			
Continue			This selection will
Boot Maintenance Manager			direct the system to continue to booting
			process
^v=Move Highlight	<enter>=Sel</enter>	ect Entry	

10 driversコマンドを入力し、「Hitachi Fibre channel Driver」のドライバハンドルを調べます。

Shell> drivers [Enter]
T D
D Y C I
R PFA
V VERSION E G G #D #C DRIVER NAME IMAGE NAME
70 10000119 D X - 1 - Hitachi PCI-X/PCIe Fibre channel Dr ScsiBusFive
Shell>

この例では、「70」がドライバハンドルになります。

11 drvcfg [ドライバハンドル]を入力し、コントローラハンドルを調べます。

Shell> drvcfg 70 [Enter] Configurable Components Drv[70] Ctrl[7E] Lang[eng] Shell>

この例では、「7E」がコントローラハンドルになります。

12 drvcfg -s [ドライバハンドル] [コントローラハンドル]を入力します。 hfccfg> プロンプトが表示されます。

Shell> drv	cfg -s 70	7e [Enter]
Set Config	uration Op	tions
Drv[70]	Ctrl[7E]	Lang[eng]
hfccfg>		

13 selectコマンドを入力し、ブートに使用するFCアダプタを選択します。

この例では、「1」を選択します。

14 setコマンドを入力し、以下の項目を設定します。

- Boot Function = Enabled
- Select Boot Device = Enabled
- Boot Device Listに対象となる外付けディスクアレイ装置で使用するポートのWWPN、LUN番号 (通常はLU0をブートLUとするので0)を設定します。

その他、環境に合わせて必要な項目を設定してください。



▲ 注意 ・ 共有 FC として使用する FC ポートに対しては、以下の設定を行ってください。 設定方法については、『HITACHI Gigabit Fibre Channelアダプタ ユーザーズガイド(BIOS/EFI編)』を 参照してください。 ただし、FCアダプタが共有モードのときは変更できません。変更する必要がある場合は、一度占有モ ードに切り替えてください。				
接続構成	FCアダプタ	ファームウェア	EFIオプショ	ンパラメータ
		バージョン	Connection Type	Data Rate
FCスイッチモジュール	4Gbps Fibre Channel	2x-07-89以下	PtoP	必ず速度を固定
経由でストレージと接続	アダプタ	2x-07-8C以上	Auto または PtoP	し、Autoは 使用し
	8Gbps Fibre Channel アダプタ	全バージョン	Auto または PtoP	ないでください。
ストレージと直結接続	8Gbps Fibre Channel アダプタ	全バージョン	Loop	

15 saveコマンドで、設定内容を保存します。

16 exitコマンドで、EFI Shellに戻ります。

17 reconnect -rコマンドを実行後、map -rコマンドを実行します。

表示内容詳細は、環境により異なります。

18 exitコマンドを入力します。

iSCSIイニシエータの設定(iSCSIブートの場合)

【HVMファームウェアバージョン 17-88以降】

iSCSIブートに必要なiSCSIイニシエータの設定内容を以下に示します。

/	¥
	iSCS1 Configuration
¥	/
Enable iSCSI	[X]
Enable DHCP	[]
Initiator IP Address	192. 168. 1. 100
Initiator Subnet Mask	255. 255. 255. 0
Gateway	192. 168. 1. 1
Target Name	iqn. 2013-01. XXX. com:XXX
Target IP Address	192. 168. 1. 200
Target Port	[3260]
Boot LUN	0
CHAP Type CHAP Name CHAP Secret Reverse CHAP Name Reverse CHAP Secret	<mutual> chapname reversechapname</mutual>
^v=Move Highlight	<spacebar>Toggle Checkbox</spacebar>

項目	内容	入力条件
iSCSI Initiator Name	iSCSI initiator nameを設定します。	 ・英数字、記号("-",":",".")が設定可能 ・先頭の文字は"iqn.XXXX"(XXXXは4文字以上) (iqnは大文字小文字混在可能ですが、大文字は小文字に置換されます) ・Linux :最大223文字まで設定可能 ・Windows :最大221文字まで設定可能
Enable iSCSI	チェックを入れた場合、iSCSIブートを有 効にします。	・チェックの有/無([X]または[])
Enable DHCP	チェックを入れた場合、Initiator IP Address、Initiator Subnet Mask、 GatewayをDHCPサーバから取得し、設 定できなくなります。	・チェックの有/無([X]または[]) ※Enable DHCPは未サポートのため、チェックを入れないでくださ い
Initiator IP Address	このポートで使用するIPアドレスを設定し ます。	・クラスD,Eのアドレスは設定不可能 (224.0.0.0以上は設定不可能) ・ネットワークアドレスは設定不可能 ・ブロードキャストアドレスは設定不可能
Initiator Subnet Mask	このポートで使用するサブネットマスクを 設定します。	・サブネットマスクとして適切でない値は設定不可能
Gateway	ゲートウェイのIPアドレスを設定します。	・クラスD,Eのアドレスは設定不可能 (224.0.0.0以上は設定不可能) ・ネットワークアドレスは設定不可能 ・ブロードキャストアドレスは設定不可能
Get target info via DHCP	チェックを入れた場合、Target Name、 Target IP Address、Target Port、Boot LUNをDHCPサーバから取得し、設定で きなくなります。	・チェックの有/無([X]または[]) ※Enable DHCPにチェックを入れた場合に表示されます
Target Name	iSCSIストレージのiSCSI Target Name を設定します。	 ・英数字、記号("-",":",".")が設定可能 ・先頭の文字は"iqn.XXXX"(XXXXは4文字以上) (iqnは大文字小文字混在可能ですが、大文字は小文字に置換されます) ・Linux :最大150文字まで設定可能 ・Windows :最大221文字まで設定可能
Target IP Address	iSCSIストレージのIPアドレスを設定しま す。	・クラスD,Eのアドレスは設定不可能 (224.0.0.0以上は設定不可能) ・ネットワークアドレスは設定不可能 ・ブロードキャストアドレスは設定不可能

項目	内容	入力条件
Target Port	iSCSIストレージのTCPポート番号を設定	・10進数(0~65535)
	します。	(0を指定すると3260が設定されます)
Boot LUN	iSCSIストレージのブートディスクの	・Linux :16進数(0~200)
	H-LUNを設定します。	▪Windows ∶16進数(0~fe)
CHAP Type	CHAP認証を設定します。	None / Oneway / Mutual
CHAP	CHAPユーザ名を設定します。iSCSIスト	・半角英数字、特殊文字が設定可能
Name	レージに設定したCHAPユーザ名と一致	(!"#\$%&'()=~ {}_?*`+><,./¥:];[@^-)
	している必要があります。	・最大126文字まで設定可能
		※CHAP TypeがOneway / Mutualの場合は、設定が必須となり
		ます
CHAP	CHAPパスワードを設定します。iSCSIス	・半角英数字、特殊文字が設定可能
Secret	トレージに設定したCHAPパスワードとー	(!"#\$%&'()=~ {}_?*`+><,./¥:];[@^-)
	致している必要があります。	・12文字から16文字まで設定可能
		※CHAP TypeがOneway / Mutualの場合は、設定が必須となり
		※Reverse CHAP Secretと同じ値は、設定できません
Reverse	双方向CHAPユーザ名を設定します。	・半角英数字、特殊文字が設定可能
CHAP	iSCSIストレージに設定した双方向CHAP	(!"#\$%&'()=~ {}_?*`+><,./¥:];[@^-)
Name	ユーザ名と一致している必要がありま	・最大126文字まで設定可能
	す。	
_		※CHAP TypeがMutualの場合は、設定が必須となります
Reverse	双方向CHAPパスワードを設定します。	・半角英数字、特殊文字が設定可能
CHAP	iSCSIストレージに設定した双方向CHAP	(!"#\$%&'()=~ {}_?*`+><,./¥:];[@^-)
Secret	パスワードと一致している必要がありま	・12文字から16文字まで設定可能
	す。	
		※CHAP TypeがMutualの場合は、設定が必須となります
		※CHAP Secretと同じ値は、設定できません

iSCSIブートを行う場合のiSCSIイニシエータの設定例(例では、DHCP未使用、CHAP使用(Mutual))を以下に示します。すでにiSCSIイニシエータの設定を行っている場合、本設定は不要です。

1 論理BIOSスクリーンで、Device Managerを選択します。

BladeSymphony F51 HVM LPA Intel(R) Xeon(R) CPU (IA32.UEF1) Ver: 1.20	AR E5540 @ 2. 53GHz	2.53 GHz
Continue Boot Maintenance Manager Device Manager		This selection will take you to the Device Manager
^v=Move Highlight <€	Enter>=Select Entry	

2 iSCSI Configurationを選択します。

	e manager
etwork Devices iSCSI Configuration	Configure the iSCSI parameters.
Intel(R) Gigabit ET Dual Port Serve 00:00:87:62:CB:78	r Adap -
Intel(R) Gigabit ET Dual Port Serve 00:00:87:62:CB:79	r Adap -
Intel(R) Gigabit ET Dual Port Serve 00:00:87:62:CB:7A	r Adap -
Intel(R) Gigabit ET Dual Port Serve 00:00:87:62:CB:7B	r Adap -
ress ESC to exit.	
^v=Move Highlight <{Enter>=Sel	ect Entry

3 iSCSI Initiator Nameを選択し、サーバブレードのLANポートを識別するiSCSIイニシェータネームを入力します。

/ iSCSI Configuration ¥		
iSCSI Initiator Name Port 00-00-87-62-CB-78 Port 00-00-87-62-CB-79 Port 00-00-87-62-CB-7A P/	1	The worldwide unique name of the initiator. Only iqn. format is accepted.
 iqn. 2013-01. XXX. com: XXX ¥	Please type in your data	 /
	<enter>=Complete Entry</enter>	Esc=Exit without Save

4 Port xx-xx-xx-xx-xxを選択します。

/ ¥	iSCSI Configuration		-+ -/
iSCSI Initiator Name Port 00-00-87-62-CB-78 Port 00-00-87-62-CB-79 Port 00-00-87-62-CB-7A Port 00-00-87-62-CB-7B	iqn. 2013–01. XXX. com:XXX	Set the iSCSI parameters on port 00-00-87-62-CB-7A	
^v=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>		

⋯ 補足

表示される Port xx-xx-xx-xx は、Virtual NIC Assignment スクリーンで設定した共有 NIC に対応しています。Virtual NIC Assignment スクリーンで設定した共有 NIC(2a または 2b)の MAC アドレスと一致するものを選択してください。

5 Enable iSCSIを選択し、[Space]を押します。

/ ¥	iSCSI Configuration /	
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask Gateway	[] [] 0. 0. 0. 0 0. 0. 0. 0 0. 0. 0. 0	
Target Name Target IP Address Target Port Boot LUN	0. 0. 0. 0 [0] 0	
CHAP Type	<none></none>	
Save Changes Back to Previous Page		
^v=Move Highlight	<spacebar>Toggle Checkbox</spacebar>	

 Enable DHCPはサポートしていません。以下の手順で、Initiator IP Address、Initiator Subnet Mask、 Gatewayの設定を行ってください。

▲注意

6 Initiator IP Addressを選択し、サーバブレードのLANポートで使用するIPアドレスを入力します。

/ ¥	iSCSI Configuration	¥ /
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask Gateway	[X] [] 0.0.0.0 0.0.0.0 /¥	Enter IP address in dotted-decimal notation.
Target Name Target IP Address Target Port Boot LUN	Please type in your data 192.168.1.100 ¥/	
CHAP Type	<none></none>	
Save Changes Back to Previous Page		
	<enter>=Complete Entry</enter>	Esc=Exit without Save

7 Initiator Subnet Maskを選択し、サーバブレードのLANポートで使用するサブネットマスクを入力します。

/ ¥	iSCSI Configuration	¥ //
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask Gateway	[X] [] 192. 168. 1. 100 0. 0. 0. 0 /	Enter IP address in dotted-decimal notation.
Target Name Target IP Address Target Port Boot LUN	 Please type in your data 255.255.255.0 ¥/	,
CHAP Type	<none></none>	
Save Changes Back to Previous Page		
	<enter>=Complete Entry</enter>	Esc=Exit without Save
8 Gatewayを選択し、ゲートウェイのIPアドレスを入力します。

/ iSCS1 Configuration ¥		
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask Gateway Target Name	[X] [] 192.168.1.100 255.255.255.0 /	Enter IP address in dotted-decimal notation.
Target IP Address Target Port Boot LUN	192. 168. 1. 1 ¥/	,
CHAP Type	<none></none>	
Save Changes Back to Previous Page		
	<enter>=Complete Entry</enter>	Esc=Exit without Save

9 Target Nameを選択し、iSCSIストレージのLUを識別するiSCSIターゲットネームを入力します。

/ ¥	iSCSI Configuration	¥ /
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask	[X] [] 192. 168. 1. 100 255. 255. 255. 0	, Target Name
/ iqn. 2013-01. XXX. com: XXX ¥	Please type in your data	*
CHAP Type	<none></none>	
Save Changes Back to Previous Page		
	<enter>=Complete Entry</enter>	Esc=Exit without Save

10 Target IP Addressを選択し、iSCSIストレージのLANポートに設定されたIPアドレスを入力します。

iSCSI Configuration ¥		
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask Gateway Target Name Target IP Address Target Port Boot LUN	[X] [] 192.168.1.100 255.255.255.0 / Please type in your data 192.168.1.200 ¥	Enter IP address in dotted-decimal notation. ¥ /
CHAP Type	<none></none>	
Save Changes Back to Previous Page		
	<enter>=Complete Entry</enter>	Esc=Exit without Save

11 Target Portを選択し、iSCSIストレージのTCPポート番号を入力します。

/ ¥	iSCSI Configuration	¥ /
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask Gateway Target Name Target IP Address	[X] [] 192. 168. 1. 100 255. 255. 255. 0 192. 168. 1. 1 iqn. 2013-01. XXX. com: XXX 192. 168. 1. 200	Target Port
Target Port Boot LUN	[3260] 0	
CHAP Type Save Changes Back to Previous Page	<none></none>	
	0123456789 are valid input <enter>=Complete Entry</enter>	s Esc=Exit without Save

12 Boot LUNを選択し、iSCSIストレージのブートディスクのH-LUNを入力します。

/¥ iSCSI Configuration ¥/		
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask Gateway Target Name Target IP Address Target Port	[X] [] 192.168.1.100 255.255.255.0 / Please type in your data 0	Hexadecimal representation of the LU number. Examples are: ¥ 4752-3A4F-6b7e-2F99, 6734-9-156f-127, 4186-9
Boot LUN CHAP Type	1 ¥ <none></none>	/
Save Changes Back to Previous Page		
	<enter>=Complete Entry</enter>	Esc=Exit without Save

13 CHAP Typeを選択し、Mutualを選択します。

/¥ iSCSI Configuration ¥/		
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask Gateway	[X] [] 192. 168. 1. 100 255. 255. 255. 0 192. 168. 1. 1 /¥	None, One way CHAP or mutual CHAP
Target Name Target IP Address Target Port Boot LUN	iqn.20 None XXX 192.16 One way [3260] Mutual 0 ¥/	
CHAP Type	<none></none>	
Save Changes Back to Previous Page		
^v=Move Highlight	<enter>=Complete Entry</enter>	Esc=Exit without Save

▲ 注意

■ iSCSI ブートパス1とiSCSI ブートパス2でCHAP Typeを合わせてください。

••• 補足

- CHAP Type に None を選択した場合、CHAP 認証は無効となります。
- CHAP Type に One way を選択した場合、Reverse CHAP Name、Reverse CHAP Secret は非表示 となります。

14 CHAP Nameを選択し、iSCSIストレージに設定したCHAPユーザ名を入力します。

/ iSCSI Configuration y		
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask	[X] [] 192. 168. 1. 100 255. 255. 255. 0	, CHAP Name
/ chapname ¥	Please type in your data	*
CHAP Type CHAP Name CHAP Secret Reverse CHAP Name	<mutual></mutual>	
	<enter>=Complete Entry</enter>	Esc=Exit without Save

15 CHAP Secretを選択し、iSCSIストレージに設定したCHAPパスワードを入力します。

/ ¥	iSCSI Configurati	¥ on /
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask Gateway	[X] [] 192. 168. 1. 100 255. 255. 255. 0 /	The minimum length is 12 bytes and the maximum length is 16 bytes.
Target Name Target IP Address Target Port Boot LUN	Please type in your new ********** ¥	password
CHAP Type CHAP Name CHAP Secret Reverse CHAP Name	<mutual> chapname _</mutual>	
	<enter>=Complete En</enter>	try Esc=Exit without Save

16 CHAPパスワードを再入力します。

/¥		
¥		/
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask Gateway	[X] [] 192. 168. 1. 100 255. 255. 255. 0 /	The minimum length is 12 bytes and the maximum length is 16 bytes. ¥ I
Target Name Target IP Address Target Port Boot LUN	Please confirm your no ********* ¥	ew password /
CHAP Type CHAP Name CHAP Secret Reverse CHAP Name	<mutual> chapname _</mutual>	
	<enter>=Complete </enter>	Entry Esc=Exit without Save

17 Reverse CHAP Nameを選択し、iSCSIストレージに設定した双方向CHAPユーザ名を入力します。

/ ¥	iSCSI Configuration		-¥ -/
Enable iSCSI Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask	[X] [] 192. 168. 1. 100 255. 255. 255. 0	Reverse CHAP Name	v
/ reversechapname ¥	Please type in your data		-+
CHAP Type CHAP Name CHAP Secret Reverse CHAP Name	<mutual> chapname</mutual>		
	<enter>=Complete Entry</enter>	Esc=Exit without Save	

18 Reverse CHAP Secretを選択し、iSCSIストレージに設定した双方向CHAPパスワードを入力します。

/ 	iSCSI Configuration	¥
¥		/
Enable DHCP Initiator IP Address Initiator Subnet Mask Gateway	[] 192. 168. 1. 100 255. 255. 255. 0 192. 168. 1. 1	The minimum length is 12 bytes and the maximum length is 16 bytes. ¥
Target Name Target IP Address Target Port Boot LUN	 Please type in your new pa ********** ¥	 ssword /
CHAP Type CHAP Name CHAP Secret Reverse CHAP Name Reverse CHAP Secret	chapname reversechapname	,
	<enter>=Complete Entry</enter>	Esc=Exit without Save

19 双方向CHAPパスワードを再入力します。



20 Save Changesを選択します。

 ¥	iSCSI Configuration	¥ //
Target Name Target IP Address Target Port Boot LUN CHAP Type CHAP Name CHAP Secret Reverse CHAP Name Reverse CHAP Secret Save Changes Back to Previous Page	iqn. 2013-01. XXX. com:XXX 192. 168. 1. 200 [3260] O <mutual> chapname reversechapname</mutual>	Save Changes
^v=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	

■ 本設定が反映されるのは、reconnect もしくは Reset System(LPAR の Reactivate)の実施後です。 reconnect もしくは Reset System を実施しない場合、変更前の設定が使用されます。

▲ 注意

設定変更後、Save Changes を行わずに Esc キーまたは Back to Previous Page で抜けた場合、再度設定画面に入ると設定値は残っていますが、LPAR を Deactivate すると設定値は消えてしまいます。 設定変更後は、必ず Save Changes を行ってください。

••• 補足

- 以下に示す条件では、Save Changes でエラーとなります。
 - Enable iSCSIが有効で、GateWayに値が入っている時にInitiator Subnet Maskが設定されていない場合
 - Enable iSCSIが有効で、Initiator IP Address、GateWayのInitiator Subnet Maskが合っていない 場合
 - Enable iSCSIが有効で、Target IP Addressが不正な場合
 - CHAP TypeがMutualの時にCHAP SecretとReverse CHAP Secretが同じ値の場合

21 Back to Previous Pageを選択します。

¥ iSCSI Configuration ¥/		
Target Name Target IP Address Target Port Boot LUN CHAP Type CHAP Name CHAP Secret Reverse CHAP Name Reverse CHAP Secret Save Changes Back to Previous Page	iqn.2013-01.XXX.com:XXX 192.168.1.200 [3260] O <mutual> chapname reversechapname</mutual>	Back to Previous Page
^v=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	

22 [Esc]を押します。

/¥ iSCSI Configuration ¥/			
iSCSI Initiator Name Port 00-00-87-62-CB-78 Port 00-00-87-62-CB-79 Port 00-00-87-62-CB-7A Port 00-00-87-62-CB-7B	iqn. 2013–01. XXX. com: XXX	, The worldwide unique name of the initiator. Only iqn. format is accepted.	
^v=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>		

23 [Esc]を押します。

/ Device Manager	-¥
+ Network Devices Configure the iSCSI	-/
iSCSI Configuration parameters.	
Intel(R) Gigabit El Dual Port Server Adap - 00:00:87:62:CB:78	
Intel(R) Gigabit ET Dual Port Server Adap - 00:00:87:62:CB:79	
Intel(R) Gigabit ET Dual Port Server Adap -	
00:00:87:62:CB:7A Intel(R) Gigabit ET Dual Port Server Adap - 00:00:87:62:CB:7B	
Press ESC to exit.	
^v=Move Highlight <enter>=Select Entry</enter>	

24 Boot Maintenance Managerを選択します。

BladeSymphony F51 HVM LPAR		
Intel(R) Xeon(R) CPU	E5540 @ 2.53GHz	2.53 GHz
(IA32.UEFI) Ver: 1.20		
Continue		This selection will
Boot Maintenance Manager		take you to the Boot
Device Manager		Maintenance Manager
	ter>=Select Entry	
	Lory-ouroot Littiy	
	Ler /-Serect Litty	

25 Reset Systemを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manage	er	і /
Boot Options		Reset System	
Set Time Out Value			
Reset System			
/			-¥
 ^v=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save	

エラーメッセージー覧を以下に示します。

シンセージロタ	ERROR: ISCSI initiator error detected.
ノリビーノ内谷	The initiator could not be successfully authenticated or target authentication is not supported.
説明	CHAP認証に失敗しました。
対処方法	iSCSIターゲットもしくはiSCSIイニシェータ設定のCHAP設定を見直してください。
	·
シンセージロタ	ERROR: iSCSI initiator error detected.
	Initiator is not allowed access to the given target.
説明	Initiator Nameに対応するTarget Nameがありませんでした。
対処方法	iSCSIターゲットもしくはiSCSIイニシエータ設定のiSCSI Initiator Nameを見直してください。
	·
シードロタ	ERROR: iSCSI initiator error detected.
ノリビーノ内谷	The requested ITN does not exist at this address.
説明	Target Nameは見つかりませんでした。
対処方法	iSCSIターゲットもしくはiSCSIイニシエータ設定のTarget Nameを見直してください。
	·
メッセージ内容	ERROR: Could not establish TCP/IP connection with iSCSItarget.code[XXXXXXX]
説明	TCP/IPコネクションに失敗しました。
対処方法	ネットワーク環境、iSCSIターゲットもしくはiSCSIイニシエータ設定を見直してください。
	※本エラーメッセージが繰り返し出力される場合、Ctrl+CまたはEscでリトライをキャンセルしてくださ
	い。
-	

上記以外のエラーメッセージが出力された場合は、『Virtage ユーザーズガイド 運用編』の「メッセージ」を参照してください。

2.6.2 ブートオプションの作成

用途に合わせたブートオプションを作成する必要があります。 すでにブートオプションが作成されている場合、本作成は不要です。

デバイス名	ブート種別	用途
FC STORAGE DEVICE	SANブート	ゲストOSの起動
ISCSI STORAGE DEVICE	iSCSIブート	ゲストOSの起動
USB STORAGE DEVICE	CD/DVDブート	CD/DVDの使用
NETWORK BOOT DEVICE	ネットワークブート	JP1/SC/DPMの使用

OSセットアップの場合

1 Boot Maintenance Managerを選択します。

BladeSymphony F51 HVM L Intel(R) Xeon(R) CPU (IA32.UEFI) Ver: 1.20	PAR E5540 @ 2. 53GHz	z 2.53 GHz
Continue Boot Maintenance Manager		This selection will take you to the Boot Maintenance Manager
^v=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	

2 Boot Optionsを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager		¥ /
Boot Options		Modify system boot options	
Set lime Out Value			
Reset System			
/ 			¥
^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Sav	/e

3 Add Boot Optionを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager	¥ //
Go Back To Main Page Add Boot Option Delete Boot Option Change Boot Order		Add EFI Application or Removable Fs as Boot Option
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter≻=select entry<="" td=""><td>¥ Esc=Exit without Save /</td></enter≻=select>	¥ Esc=Exit without Save /

4 作成するブートオプションのブートデバイスを選択します。

/¥ File Explorer ×/
FC STORAGE DEVICE, [Acpi (PNPOA08, 0x0) /Pci (0x9, 0x0) /Pci (0x0, 0x0) /Pci (0x4 , 0x0) /Fibre (0x50060E801025A261, 0x0)] USB STORAGE DEVICE, [Acpi (PNPOA08, 0x0) /Pci (0x1A, 0x0) /USB (0x0, 0x0)] NETWORK BOOT DEVICE [PciRoot (0x1) /Pci (0x4, 0x0) /Pci (0x1, 0x0) /MAC (00008762 CB78, 0x0)] NETWORK BOOT DEVICE [PciRoot (0x1) /Pci (0x4, 0x0) /Pci (0x2, 0x0) /MAC (00008762 CB79, 0x0)]
/¥ \ ^v=Move Highlight <enter>=Select Entry Esc=Exit without Save ¥/</enter>

••• 補足

 iSCSI ブートの場合は、作成するブートオプションに ISCSI STORAGE DEVICE を選択してください。 ISCSI STORAGE DEVICE, [PciRoot(0x1)/Pci(0x4,0x0)/Pci(0x3,0x0)/MAC(00008762 CB7A,0x0)/IPv4(192.168.1.200,TCP,Static,192.168.1.10 0)/iSCSI(iqn.2013-01.XXX.com:XXX,0x1,0x0,None,None,None,None,TCP)] 5 Input the descriptionを選択します。

/ ¥	File Explorer		¥ /
FC STORAGE DEVICE, [Acpi (PNP0A08, 0x0) /Pci (0x9 , 0x0) /Fibre (0x50060E801029	9,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x4 5A261,0x0)]	l.	
Input the description Input Optional Data	1		
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit			
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without	¥ Save /

6 ブートデバイス名を入力します。

C STORAGE DEVICE,	File Explorer		 //
Acpi (PNP0A08, 0x0) /Pci (0x9, 0 0x0) /Fibre (0x50060E801025A2	1x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x4 61,0x0)]		
n/ n 	Please type in your data		¥
io SAN ii ¥			 /
·			à
,	<enter>=Complete Entry</enter>	Esc=Exit without	Save

7 Commit Changes and Exitを選択します。

/ ¥	File Explorer		¥ /
FC STORAGE DEVICE, [Acpi (PNP0A08, 0x0) /Pci (0x) , 0x0) /Fibre (0x50060E80102)	9, 0x0) /Pci(0x0, 0x0) /Pci(0x4 5A261, 0x0)]	Commit Changes a	and Exit
Input the description Input Optional Data	SAN		
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit			
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without	¥ Save /

8 Boot Optionsを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager		¥ /
Boot Options		Modify system b	oot
Set Time Out Value			
Reset System			
/			¥
 ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without	 Save /

9 Add Boot Optionを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager	¥ · //
Go Back To Main Page Add Boot Option Delete Boot Option Change Boot Order		Add EFI Application or Removable Fs as Boot Option
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save /

10 作成するブートオプションのブートデバイスを選択します。

/ File Explorer	¥
¥	/
FC STORAGE DEVICE, [Acpi (PNP0A08, 0x0) /Pci (0x9, 0x0) /Pci (0x0, 0x0) /Pci (0x4 , 0x0) /Fibre (0x50060E801025A261, 0x0)] USB STORAGE DEVICE, [Acpi (PNP0A08, 0x0) /Pci (0x1A, 0x0) /USB (0x0, 0x0)] NETWORK BOOT DEVICE [PciRoot (0x1) /Pci (0x4, 0x0) /Pci (0x1, 0x0) /MAC (00008762 CB78, 0x0)] NETWORK BOOT DEVICE [PciRoot (0x1) /Pci (0x4, 0x0) /Pci (0x2, 0x0) /MAC (00008762 CB79, 0x0)]	
/	¥
 ^v=Move Highlight <enter>=Select Entry Esc=Exit without Save</enter>	

11 Input the descriptionを選択します。

/ File E ¥	xplorer /
USB STORAGE DEVICE, [Acpi (PNP0A08, 0x0) /Pci (0x1A, 0x0) /USB(0x	0, 0x0)]
Input the description Input Optional Data	
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit	
 _/	¥
; ^v=Move Highlight <enter>=Selec ¥</enter>	t Entry Esc=Exit without Save /

12 ブートデバイス名を入力します。

/ File Explorer ¥	¥ /
USB STORAGE DEVICE, [Acpi (PNP0A08, 0x0) /Pci (0x1A, 0x0) /USB (0x0, 0x0)]	
Input the description	-¥
Co Please type in your data Di CD/DVD	
 ¥	 -/
/	¥
 <enter>=Complete Entry Esc=Exit without Save ¥</enter>	 /

13 Commit Changes and Exitを選択します。

/¥ File Explorer ¥/			
USB STORAGE DEVICE, [Acpi(PNPOA08,0x0)/Pci(0x1	I A, 0x0) /USB (0x0, 0x0)]	Commit Changes a	and Exit
Input the description Input Optional Data	CD/DVD		
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit			
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without	¥ Save /

14 [Esc]を押します。

/ ¥	Boot Maintenance Manag	er
Boot Options		Modify system boot
Set Time Out Value		operons
Reset System		
·		
^v=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save

ゲストOSブートの場合

1 Boot Maintenance Managerを選択します。

BladeSymphony F51 HVM L Intel(R) Xeon(R) CPU (IA32.UEFI) Ver: 1.20	.PAR E5540	@ 2.53GHz	2.53 GHz	
Continue Boot Maintenance Manager			This selection will take you to the Boot Maintenance Manager	
^v=Move Highlight	<enter>=Sel</enter>	ect Entry		

2 Boot Optionsを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager		¥ /
Boot Options Set Time Out Value		Modify system bo options	oot
Reset System			
/			¥
/ ^v=Move Highlight <	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without	

3 Add Boot Optionを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager	¥ //
Go Back To Main Page Add Boot Option Delete Boot Option Change Boot Order		Add EFI Application or Removable Fs as Boot Option
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter≻=select entry<="" td=""><td>¥ Esc=Exit without Save /</td></enter≻=select>	¥ Esc=Exit without Save /

4 作成するブートオプションのブートデバイスを選択します。

 ¥	File Explorer		
<pre>+ FC STORAGE DEVICE, [Acpi (PNP0A08, 0x0) /Pci (0 , 0x0) /Fibre (0x50060E8010 NETWORK BOOT DEVICE [PciRoot (0x1) /Pci (0x4, 0x CB78, 0x0)] NETWORK BOOT DEVICE [PciRoot (0x1) /Pci (0x4, 0x CB79, 0x0)]</pre>	x9,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(25A261,0x0)] * 0)/Pci(0x1,0x0)/MAC(00008 0)/Pci(0x2,0x0)/MAC(00008	0x4 762 762	/
/ ^v=Move Highlight	<pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre> <pre></pre>	Esc=Exit without Save	¥

••• 補足

■ iSCSI ブートの場合は、作成するブートオプションに ISCSI STORAGE DEVICE を選択してください。 ISCSI STORAGE DEVICE. [PciRoot(0x1)/Pci(0x4,0x0)/Pci(0x3,0x0)/MAC(00008762 CB7A, 0x0)/IPv4(192.168.1.200, TCP, Static, 192.168.1.10 0) / i SCSI (iqn. 2013-01. XXX. com: XXX, 0x1, 0x0, None, None, N one, TCP)] * OS がインストールされているデバイスの最後尾には、「*」が表示されます。(ただし、デバイスパス(赤 字部分)が 213 文字を超える場合は、213 文字目が~となり、214 文字以降は省略されて表示されま す。) ISCSI STORAGE DEVICE. [PciRoot(0x1)/Pci(0x4,0x0)/Pci(0x3,0x0)/MAC(00008762 CB7A, 0x0) / IPv4 (192. 168. 1. 200, TCP, Static, 192. 168. 1. 10 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXXX, 0x1, 0x0, None, None, No ne, TC~] *

5 Input the descriptionを選択します。

/ ¥	File Explorer		¥ /
FC STORAGE DEVICE, [Acpi (PNP0A08, 0x0) /Pci (0x' , 0x0) /Fibre (0x50060E80102)	9,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x4 5A261,0x0)] *	i -	
Input the description Input Optional Data	1		
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit			
/			¥
 ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without	 Save /

6 ブートデバイス名を入力します。

File Explorer	-¥ -/
C STORAGE DEVICE, Acpi (PNP0A08, 0x0) /Pci (0x9, 0x0) /Pci (0x0, 0x0) /Pci (0x4 0x0) /Fibre (0x50060E801025A261, 0x0)] *	
n/ n Please type in your data co SAN bi	¥
¥,	/
·	-¥
<pre><enter>=Complete Entry Esc=Exit without Save</enter></pre>	і -/

7 Commit Changes and Exitを選択します。

/ ¥	File Explorer		¥ /
FC STORAGE DEVICE, [Acpi (PNP0A08, 0x0) /Pci (0x) , 0x0) /Fibre (0x50060E80102)	9,0x0)/Pci(0x0,0x0)/Pci(0x4 5A261,0x0)] *	Commit Changes a	and Exit
Input the description Input Optional Data	SAN _		
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit			
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without	¥ Save /

8 [Esc]を押します。

/ ¥	Boot Maintenance Manage	er
Boot Options		Modify system boot
Set Time Out Value		operono
Reset System		
/		
/ ^v=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save

2.6.3 ブートオーダの変更

ブートオーダを変更することにより、ブートデバイスの優先順位を設定することができます。 すでにブートデバイスの優先順位が設定されている場合、本変更は不要です。

ブートオプション例	デバイス名	ブート種別	用途
SAN	FC STORAGE DEVICE	SANブート	ゲストOSの起動
iSCSI	ISCSI STORAGE DEVICE	iSCSIブート	ゲストOSの起動
CD/DVD	USB STORAGE DEVICE	CD/DVDブート	CD/DVDの使用
DPM	NETWORK BOOT DEVICE	ネットワークブート	JP1/SC/DPMの使用
EFI Internal Shell	—	EFI Shellブート	EFIドライバの設定

OSセットアップの場合

1 Boot Maintenance Managerを選択します。

BladeSymphony F51 HVM LPAR		
Intel(R) Xeon(R) CPU	E5540 @ 2.53GHz	2.53 GHz
(IA32.UEFI) Ver: 1.20		
		.
Continue Boot Maintenance Manager		take vou to the Boot
		Maintenance Manager
^v=Move Highlight <ent< td=""><td>er>=Select Entry</td><td></td></ent<>	er>=Select Entry	

2 Boot Optionsを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager	¥ //
Boot Options		Modify system boot options
Reset System		
/ ^v=Move Highlight	<pre><code code="" code<="" td=""><td>¥ Esc=Exit without Save</td></code></pre>	¥ Esc=Exit without Save

3 Change Boot Orderを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager		¥ /
Go Back To Main Page Add Boot Option Delete Boot Option Change Boot Order		Will be valid on next boot	:
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save	¥ /

- すでにブートするデバイスの優先順位が設定されている場合、Change Boot Orderは不要です。
 Discard Changes and Exitを選択した後、手順⁸から実施してください。
- 5 それ以外の場合は、Change the orderを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager	¥ /
Change the order	<efi internal="" shell=""> <san> <cd dvd=""></cd></san></efi>	Change the order
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit		v
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save /

6 「+」または「-」キーを押し、以下のようにブートするデバイスの優先順位を変更します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager	¥ /	(/
Change the order	<efi internal="" shell=""> <san> <cd dvd=""></cd></san></efi>	Change the order	
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit	/ CD/DVD SAN EFI Internal Shell ¥	¥ /	
/ + =Move Selection Up ¥	<enter>=Complete Entry</enter>	¥ - =Move Selection Down Esc=Exit without Save /	,



7 Commit Changes and Exitを選択します。

/ ¥	Boot Maintenan	ce Manager		¥ /
Change the order	<cd dvd=""> <san> <efi internal<="" td=""><td>Shell></td><td></td><td></td></efi></san></cd>	Shell>		
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit				
<i>,</i>				Y
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select</enter>	Entry	Esc=Exit without	¥ Save /

8 [Esc]を押します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager	¥ /
Boot Options		Modify system boot
Set Time Out Value		options
Reset System		
/		¥
^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save

9 Continueを選択します。

BladeSymphony F51 HVM L Intel(R) Xeon(R) CPU (IA32.UEFI) Ver: 1.20	PAR E5540 @ 2. 53GHz	2.53 GHz	
Continue Boot Maintenance Manager		This selection will direct the system to continue to booting process	
^v=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>		

ゲストOSブートの場合

1 Boot Maintenance Managerを選択します。

BladeSymphony F51 HVM LP Intel(R) Xeon(R) CPU (IA32.UEFI) Ver: 1.20	AR E5540	@ 2.53GHz	2.53 GHz
Continue Boot Maintenance Manager			This selection will take you to the Boot Maintenance Manager
^v=Move Highlight <	Enter>=Sel	ect Entry	

2 Boot Optionsを選択します。

/Boot Maintenance Manager ¥				
Boot Options		Modify system be options	oot	
Set Time Out Value				
Reset System				
/			¥	
 ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without	 Save /	

3 Change Boot Orderを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager		¥ ·/
Go Back To Main Page Add Boot Option Delete Boot Option Change Boot Order		Will be valid on next boot	
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter≻=select entry<="" td=""><td>Esc=Exit without Save</td><td>¥ </td></enter≻=select>	Esc=Exit without Save	¥

- すでにブートするデバイスの優先順位が設定されている場合、Change Boot Orderは不要です。
 Discard Changes and Exitを選択した後、手順⁸から実施してください。
- 5 それ以外の場合は、Change the orderを選択します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager	¥ /
Change the order	<efi internal="" shell=""> <san *=""></san></efi>	Change the order
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit		
/		¥
 ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save /

6 「+」または「-」キーを押し、以下のようにブートするデバイスの優先順位を変更します。

			 /
Change the order	<efi internal="" shell=""> <san *=""></san></efi>	Change the order	
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit	/ SAN * EFI Internal Shell ¥	¥ -/	
/ + =Move Selection Up x	<enter>=Complete Entry</enter>	- =Move Selection Down Esc=Exit without Save	¥

7 Commit Changes and Exitを選択します。

EFI Internal Shell

/ ¥	Boot Maintenance Manager	¥ //
Change the order	<san *=""> <efi internal="" shell=""></efi></san>	
Commit Changes and Exit Discard Changes and Exit		
/ ^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	¥ Esc=Exit without Save /

8 [Esc]を押します。

/ ¥	Boot Maintenance Manager	¥ /
Boot Options		Modify system boot
Set Time Out Value		operons
Reset System		
/		¥
¦^v=Move Highlight ¥	<enter>=Select Entry</enter>	Esc=Exit without Save /

9 Continueを選択します。

BladeSymphony F51 HVM L Intel(R) Xeon(R) CPU (IA32.UEFI) Ver: 1.20	PAR E5540 @ 2. 53GHz	2.53 GHz	
Continue Boot Maintenance Manager		This selection will direct the system to continue to booting process	
^v=Move Highlight	<enter>=Select Entry</enter>		

2.7 ゲストOSのインストール

ゲストOSをセットアップする場合は、以下のマニュアルを参照してください。

ゲストOS	名称
Windows	セットアップガイド Windows編
	Hitachi Server Navigator OS セットアップガイド
	Virtage OSインストール手順書(Windows編)
Linux	セットアップガイド Linux編
	Red Hat Enterprise Linux ご使用の手引き
	Virtage OSインストール手順書(Linux編)

2.8 LPARの停止

OSが正常に稼働しているときは、「ゲストOSのシャットダウン」を実行してください。

2.8.1 ゲストOSのシャットダウン

OSのシャットダウン操作を実行してください。 OSのシャットダウン処理が終了すると、LPARはDeactivate状態になります。

2.8.2 LPARのDeactivate

LPARのDeactivate操作は、Basicモードでのサーバブレードの電源OFFに相当するため、この操作を行う場合は 注意が必要です。特に、OS起動中などデータアクセス中に当該操作を行うとディスク破損のおそれがあるため、 OSのシャットダウン操作を実行してください。

 Logical Partition Configurationスクリーンで[F4] (Deact)を押すと、サブスクリーンが表示されます。 LPAR番号を選択して[Enter]を押します。

Sta Scd Act S Dea D	Pro 2 2	Grp Srv 0 100	Mem 2048	VN 2	ID Y	AA *	AC N	PC N	VC N	PB BIOS	;
Act S Dea D	2	0 100	2048	2	Y	*	Ν	Ν	Ν	BIOS	3
Dea D	2	0 100									
	~	0 100	2048	0	Y	*	Ν	*	Ν	BIOS	5
		+		-+							
		Deactivat	e LPAR								
		1 LPAR1									
		2		ge	e Up) /	[Pa	ge[Dow	n]∶Pa	ige Down
ormation					++-	- Pł	nysi	ca	I II	nform	nation -
Pro	Shr	Ded	Mem	VN		Use	er N	lemo	bry	: 1	1008
4	2	2	4096	2		Pro	oces	sor	ſS	: 1	6(16)
2	2	0	2048	2			Sha	rec	ł	: 1	6
			8960				Dec	lica	ate	: ()
	Formation Pro 4 2	ormation Pro Shr 4 2 2 2	Deactivat	Deactivate LPAR 1 LPAR1 2 *ormation Pro Shr Ded Mem 4 2 2 4096 2 2 0 2048 8960		Ormation Pro Shr Ded Mem VN 4 2 2 4096 2 2 2 0 2048 2 8960	++ Deactivate LPAR 1 LPAR1 2 ge Up / 	++ Deactivate LPAR LPAR1 2 ge Up / [Pa 	Pro Shr Ded Mem VN User Memore 2 2 0 2048 2 Shared 8960 Dedica	Pro Shr Ded Mem VN User Memory 4 2 2 4096 2 Processors 2 2 0 2048 2 Shared 8960 Dedicate	++ Deactivate LPAR LPAR1 2 ge Up / [PageDown]:Pa *ormation

BladeSymphony BS320 Virtage セットアップガイド 基本構成編

2 サブスクリーンでYesを選択して[Enter]を押します。

+												+
+- Logical Partition	(LPA	R) C	onfig	guration								+
# Name Sta So	d	Pro	Grp	Srv	Mem	VN	ID	AA	AC	PC	VC	PB
1 LPAR1 Act	S	2	0	100	2048	2	Y	*	Ν	Ν	Ν	BIOS
2 LPAR2 Dea	D	2	0	100	2048	0	Y	*	Ν	*	Ν	BIOS
3												11
4												ii ii
5												11
6	+-							+				11
7				LPAR1 [L	PAR1]							11
8		Deac	tivat	ion mea	ns pow	er-c	off.					
9			Do	you co	ntinue'	?						
10												
				Yes					[Pa	age[)owi	n]:Page Down
+				No				-				+
+- Logical Informatio	on		Yes (C)on't as	k anymo	ore)		ł	nys	ca	I I	nformation+
Pr	°0+–							+e	er I	lemo	or y	: 11008
Assign Total	4	2	2		4096	2		Pro	oces	sor	ſS	: 16(16)
Act Total	2	2	0		2048	2	11		Sha	arec	k	: 16
Remain					8960				Dec	dica	ate	:0
+							++-					+
The power status:'[)ea'	(Dea	ctiva	ated:pow	er-off)) , or	• '	\ct'	(Ac	ti	/ate	ed:power-on)

|F1:VCAssign F2:MemAllocDsp F3:Act F4:Deact F5:React F6:Add F7:Remove Esc:Menu|

- ▲ 注意
- HVM Options スクリーンの「Deactivation and Reactivation」の設定により、サブスクリーンが表示されない場合があります。

3 LPARがDeactivateされます。

⊢ Logical Parti	tion(LP	'AR) C	oniigura									
# Name St	a Scd	Pro	Grp Srv	Mem	VN	ID	AA AC	PC	VC	PB		
1 LPAR1 De	a S	2	0 100	2048	2	Y	* N	Ν	Ν	BIO	S	
2 LPAR2 De	a D	2	0 100	2048	0	Y	* N	*	Ν	BIO	S	
3												
4												
5												
6												
17												
8												
0												
q												
9												
9 10				[Pagelin] ·	Page	lln	/ [P	ممە	lowr	-1 · P	200	Down
9 10				[PageUp] :	Page	Up	/ [P	ageD)owr	ו] : P	age	Down
9 10 +				[PageUp] :	Page	Up 	/ [P Phvs	ageD)owr Ir	n]:P 	age mati	Down on
9 10 ⊢ Logical Infor	mation Pro	 Shr	 Ded	[PageUp]: Mem	Page	Up 11	/ [P Phys User	ageD ical Memo	lowr Ir or v	n]:P nfor :	age mati 1100	Down
9 10 ⊢ Logical Infor Assign Total	mation Pro 4	 Shr 2	Ded 2	[PageUp] : 	Page VN 2	Up ++ 	/ [P Phys User Proce	ageD ical Memo ssor	lown In ory	n]:P nfor : :	age mati 1100 16(1	Down on 08 6)
9 10 	mation Pro 4 0	Shr 2 0	Ded 2 0	[PageUp] : Mem 4096 0	Page VN 2 0	Up 	/ [P Phys User Proce Sh	ageD ical Memo ssor ared	lown Ir ory s	n] : P nfor : :	age mati 1100 16(1 0	Down on 18 6)
9 10 	mation Pro 4 0	Shr 2 0	Ded 2 0	[PageUp] : Mem 4096 0 11008	Page VN 2 0	Up ++ 	/ [P Phys User Proce Sh De	ageD ical Memo ssor ared dica	lown Ir ory s	n]:P ifor : :	age ——— mati 1100 16(1 0 0	Down on 8 6)
9 10 	mation Pro 4 0	Shr 2 0	Ded 2 0	[PageUp] : Mem 4096 0 11008	Page VN 2 0	Up ++ 	/ [P Phys User Proce Sh De	ageD ical Memo ssor ared dica	lowr Ir ory s l	n] : P ifor : : :	age mati 1100 16(1 0 0	Down on 8 6)

⚠注意

 HVM Options スクリーンの「HVM Auto Shutdown」を設定している場合、すべての LPAR が Deactivate 状態になったとき、HVM のシャットダウンが自動的に行われます。

2.9 HVMの停止

2.9.1 HVMのシャットダウン

HVMをシャットダウンするためには、すべてのLPARを停止する必要があります。LPARの停止方法については、 「LPARの停止」を参照してください。

任意のスクリーンで[Alt] + rを押すと、サブスクリーンが表示されます。
 Shutdown選択して[Enter]を押します。

+ Menu [HVM_192168020] - 			yyyy/mm/dd hh:mm:ss -+			
Logical Partition Config Logical Processor Config Physical Processor Confi PCI Device Information PCI Device Assignment WNIC Assignment	uration uration guration	System Configuration System Service State Date and Time HVM Options LPAR Usage Front Panel				
Shared FC Assignment Allocated FC Information +	+ Shutdown Shu Ca	HVM system utdown ancel	+ogs sion Information + 			
+ Tips F3 : Activate F4 : Deactivate F5 : Reactivate F6 : Add Definition F7 : Remove + Configure logical partiti	F8 : LPAR F9 : Save Alt + t : : Alt + r : oning of p	Screen Configurati Screen Refre HVM System S 	++ on sh hutdown + d memory			
+ :Move Cursor Enter:S	elect		HVM Ver. : VV-RR(TT-KK)			

2 サブスクリーンでYesを選択して[Enter]を押します。

+ Menu [HVM_19210	68020]	ууу	/y/mm/dd hh∶mm∶ss -+
<pre>11 11 12 Logical Partition 13 Logical Processon 14 Physical Processon 15 PCI Device Inform 15 PCI Device Assign 15 VNIC Assignment 15 Shared FC Assign</pre>	n Configuration r Configuration or Configuration mation mment	System Configuration System Service State Date and Time HVM Options LPAR Usage Front Panel	1 3 1 1 1 1 1 1
Allocated FC Inf	Shutdown HVM sys	tem.Do You Continue?	rmation
 +	 	Yes No	 +
F3 : Activate	F8 : LPAR	Screen	i i
F4 : Deactivate	F9 : Save	Configuration	ĺ
F5 : Reactivate			
F6 : Add Definit	tion Alt+t:	Screen Ketresh	
г/ . кетоve	AIL + r -		 +
Configure Logical	Processor		
Move Cursor	Enter:Select	HVM \	/er. : VV-RR(TT-KK)

3 HVMのシャットダウンを示すメッセージが表示されます。HVMのシャットダウンが開始されてからは、HVMスク リーンの操作はできません。

+ Menu [HVM_192168020] -		yyyy/mm/dd hh:mm:ss -+			
I Logical Partition Config Physical Processor Config Physical Processor Config PCI Device Information PCI Device Assignment VNIC Assignment Shared FC Assignment Allocated FC Information +	guration guration iguration n will shutd	System Configuration System Service State Date and Time HVM Options LPAR Usage Front Panel HVM System Logs Firmware Version Information 			
+ Tips F3 Activate	 F8 : LPAR	+ Screen			
F4 : Deactivate	F9 : Save	Configuration			
F5 : Reactivate					
F6 : Add Definition	Alt+t:	Screen Refresh			
F7 : Remove	Alt+r:	HVM System Shutdown			
++ Configure logical partitioning of processors and memory					
:Move Cursor Enter:	Select	HVM Ver. : VV-RR(TT-KK)			

4 約2~3分後に、サーバブレードの電源が切断されます。

+ Menu [HVM_192168020]	yyyy/mm/dd hh∶mm∶ss -+
<pre>11 12 Logical Partition Configuration 13 Logical Processor Configuration 14 Physical Processor Configuration 15 PCI Device Information 15 PCI Device Assignment 15 VNIC Assignment 15 Shared FC Assignment 16 Allocated FC Information 17 +</pre>	System Configuration System Service State Date and Time HVM Options LPAR Usage Front Panel HVM System Logs Firmware Version Information
+	+
I+ lips F3 : Activate F8 : LPAR F4 : Deactivate F9 : Save F5 : Reactivate F6 : Add Definition Alt + t : S F7 : Remove Alt + r : H	Screen Configuration icreen Refresh VM System Shutdown occessors and memory
	HVM Ver. : VV-RR (TT-KK)

••• 補足

.

- JP1/SC/BSMを使用してもHVMのシャットダウンができます。詳細については、JP1/SC/BSMのマニュアルを 参照してください。
- JP1/SC/BSMの電源制御スケジュールを使用してHVMのシャットダウンを行う場合は、すべてのLPARに JP1/SC/Advanced Agentをインストールしてください。

Virtage セットアップガイド ~ 基本構成編 ~

2013年4月(第5版)

株式会社 日立製作所 ITプラットフォーム事業本部 〒259-1392 神奈川県秦野市堀山下1番地

無断転載を禁止します。 http://www.hitachi.co.jp